

和歌山県精神保健福祉センター所報

平成16年度

和歌山県精神保健福祉センター

はじめに

ここに、平成16年度版和歌山県精神保健福祉センター所報をお届けします。本所報には、平成16年度に和歌山県精神保健福祉センターが実施した事業の実績がまとめられています。関係者の皆様にご一読をいただき、ご助言をいただければ幸いです。

平成16年度より「ひきこもり対策」、「自助グループ支援」を新規業務として開始しました。「ひきこもり対策」に関しては、平成16年度中に、関係諸機関との「ひきこもり支援ネットワーク」の形成、当センター主催での保健所職員・市町村職員などを対象とした相談従事者研修、和歌山大学保健管理センターとの共催での一般県民を対象とした「ひきこもり」の講演会を行いました。また、「自助グループ支援事業」としてセルフヘルプセミナーを主催し、講演会、自助グループによるパネルディスカッション、出会いミーティングを行いました。

継続業務として、精神保健福祉の総合的技術センターとしての役割を果たすべく、研修の充実、関係機関への技術指導、精神保健福祉相談の充実、啓発活動などに精力的に取り組んでいます。また、平成13年度より市町村精神保健福祉担当職員研修、精神障害者訪問介護員講習会、地域での業務連絡会での講師派遣など様々な支援を実施しています。精神保健福祉法の一部を改正する法律の施行に伴い、平成14年度から行っている精神医療審査会業務、精神障害者保健福祉手帳・精神障害者通院医療費公費負担業務も軌道に乗り、審査会や判定会議がより公平・適正に行われるよう資質の向上に取り組んでいます。平成15年度からは、各関係機関の委員のご協力を得て精神保健福祉センター運営会議を開催し、当センターの運営について広く意見を頂いております。

現在、「地域におけるうつ対策」、「地域における自殺対策」、「災害におけるこころのケア対策」、「和歌山県版クライシス・レスポンス・チームへの参加」などの新しい課題にも対応するべく準備をすすめております。また、本年度は、「障害者自立支援法」の成立、「心神喪失者等の医療観察法」の施行など精神保健福祉に関係する法的枠組みが大きく変わります。特に「障害者自立支援法」の成立に伴い、いろいろと混乱する事態も予想されますが、今後とも皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成17年7月

和歌山県精神保健福祉センター

所長 北端 裕司

目 次

I センターの概要

1. 沿革	-----	1
2. 業務の概要	-----	1
3. 職種別職員構成	-----	2
4. 施設の概要	-----	2

II 平成16年度事業実績

1. 技術指導・技術援助	-----	3
2. 教育研修	-----	7
3. 普及啓発	-----	14
4. 調査研究	-----	17
5. 精神保健福祉相談	-----	27
6. その他の事業	-----	29
7. 精神保健福祉法に伴う事務	-----	31

III 資料

1. 精神保健福祉に関する社会資源所在地一覧	-----	34
2. 精神障害者に対する保健福祉施策等一覧	-----	39
3. 精神保健福祉センター所蔵図書（平成16年度購入）	-----	43
4. 精神保健福祉センター所蔵ビデオ一覧（平成17年3月31日現在）		44

I 和歌山県精神保健福祉センター概要

- 1 沿革
- 2 業務の概要
- 3 職種別職員構成
- 4 施設の概要

I センターの概要

1. 沿革

精神保健福祉センターは、精神保健福祉法に基づいて、都道府県における精神保健及び精神障害者の福祉に関する総合的技術センターとして、知識の普及を図り、調査研究並びに相談業務を行い、精神保健福祉の関係機関に対する技術指導・技術援助を行うものである。

- 昭和39年11月 「精神衛生相談所」を和歌山県立医科大学附属病院内設置
- 昭和56年 4月 「精神衛生センター」に名称変更
和歌山県立五稜病院に移転
- 昭和63年 7月 「精神保健センター」に名称変更
- 平成 7年 7月 「精神保健福祉センター」に名称変更
- 平成10年12月 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛に移転
- 平成11年 4月 精神保健福祉相談員・保健師1名ずつ増員（常勤職員数4人体制）
- 平成14年 4月 事務職員1名増員（常勤職員数5人体制）

2. 業務の概要

(1) 企画立案

地域精神保健を推進するため、県の精神保健福祉主管部局及び関係機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進や、地域の精神保健施策の推進に関する事項等について提案、意見具申等を行う。

(2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町村等の関係機関に対し、専門的立場から積極的な技術指導及び技術援助を行う。

(3) 教育研修

保健所、市町村等の関係機関で精神保健福祉業務に従事する職員を対象に、その資質の向上を図るため、専門的な教育・研修を実施する。

(4) 普及啓発

一般住民に対し精神保健福祉や精神障害についての知識、権利擁護等について普及啓発を行うとともに、保健所及び市町村が行う普及啓発活動に対して協力、指導及び援助を行う。

(5) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進、精神障害者の社会復帰の促進等に関する調査研究を行い、必要な統計及び資料を収集し、保健所や市町村が行う精神保健福祉活動が効果的に展開できるよう資料を提供する。

(6) 精神保健福祉相談

アルコール、思春期の特定相談を含め、精神保健福祉全般の相談を実施する（特に複雑または困難なもの）。

(7) 組織育成

家族会、患者会等県単位の組織の育成に努めるとともに、地域単位の組織の活動に協力する。

3. 職種別職員構成

	医師	精神保健 福祉士	保健師	福祉職	事務職	計
常勤	1	2	1		1	5
非常勤	4				1	4
計	5	2	1		2	10

4. 施設の概要

(1) 所在地

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号

県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階

電話 073-435-5194

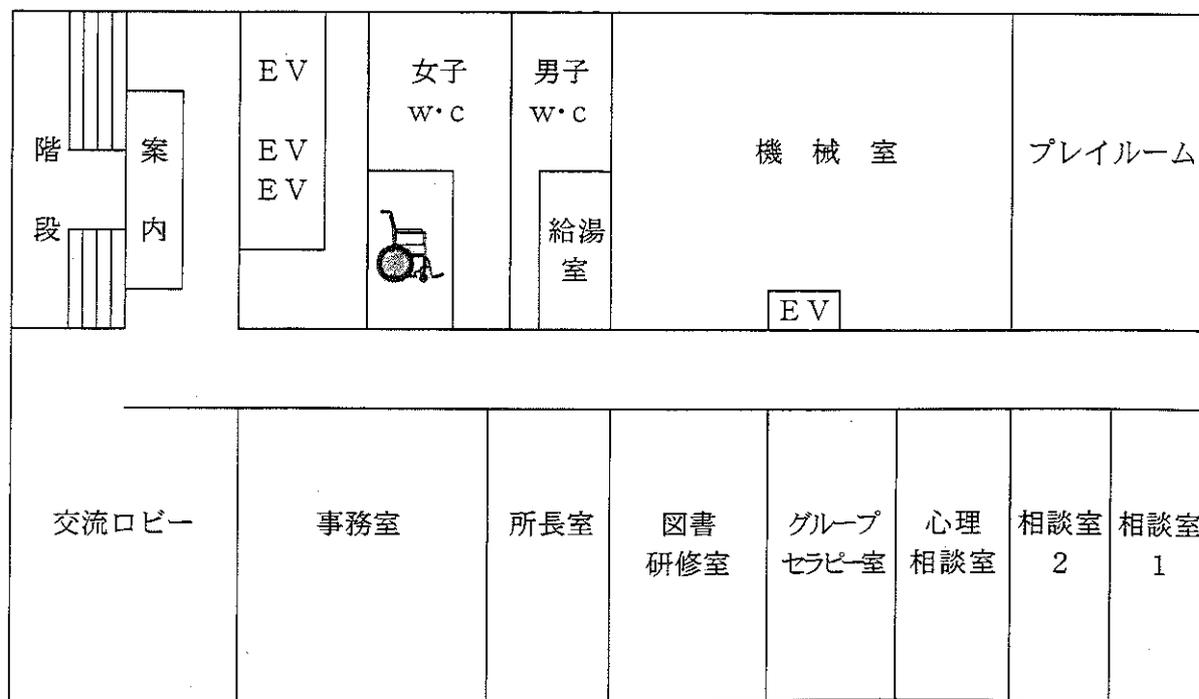
FAX 073-435-5193

(2) 建物の状況

12階建て鉄筋コンクリート造り県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階に入居

占有面積 372.66㎡

(3) 平面図



Ⅱ 平成16年度事業実績

- 1 技術指導・技術援助
- 2 教育研修
- 3 普及啓発
- 4 精神保健福祉相談
- 5 調査研究
- 6 その他の事業
- 7 精神保健福祉法に伴う事務

Ⅱ 平成16年度事業実績

1. 技術指導・技術援助

地域精神保健活動を推進するため、保健所及び関係機関に対し、研修会の講師や会議での助言、大学や専門学校での学生への講義等、技術指導及び技術援助を行った。今年度は、セルフヘルプセミナーの開催や、ダルク設立を目的に関係機関従事者で準備会を開催するなど、自助グループの支援を強化した。また、ひきこもり支援体制の強化を図ることを重点に取り組んだ。

(1) 関係機関別・内容別件数

関係機関	技術指導・援助の内容別件数（延件数）							計
	老人精神 保健	社会復帰	アルコ ール	薬物	思春期	心の健康 づくり	その他	
保健所		5		3	6	2		16
市町村					2	2		4
福祉事務所		1			1			2
医療施設		4			1		3	8
介護老人保健施設								
社会復帰施設		8				7		15
社会福祉施設		2						2
行政		2			5	1	12	20
福祉	1	1				1	12	15
教育		2			3	6	25	36
司法							1	1
労働								
その他		8	16	9	2	4	16	55
計	1	33	16	12	20	23	69	172

組織育成

	組織育成					計
	患者会	家族会	断酒会	職親会	その他	
支援件数	7	8	4	1	24	44

* 今年度から3団体が精神保健福祉センター交流ロビーを利用提供した。

団体の交流と組織育成を精神保健福祉センター交流ロビー展を10月31日・11月1日の2日間、各団体協同で実施した。

* セルフヘルプセミナーを実施後に自助グループの出会いミーティングを設定。5団体がミーティングを実施した。

* 一単会家族会が、相談会を主催するのに相談室を2回使用。

* 各団体や自助グループ主催の会に14回出席。

* ダルク設立準備を行う

(2) 業務別支援内容

・講演講師等

内 容	場 所	対 象	回数	人数
ひきこもり公開シンポジウム助言者	有田振興局	一般	1回	70名
和歌山県のひきこもり対策の現状について	海草振興局	市町村保健師	1回	12名
幼児の発達検査について	日高振興局	保健師	1回	15名
精神保健福祉について	和歌山市	介護福祉士国家 試験受験者	1回	52名
無年金救済法について	和歌山市	当事者	1回	10名
教員のためのメンタルヘルス	和歌山市	小中学校教員	1回	85名
校長のためのメンタルヘルス	和歌山市	小中学校校長	1回	80名
メンタルヘルスうつ病について	和歌山市	民生委員	1回	35名

・会議等

内 容	場 所	対 象	回数
相談ネットワーク和歌山担当者会議	和歌山市	教育・保健・福祉 労働の庁内関係課	1回
和歌山県被害者対策連絡協議会担当者会議	和歌山市	保健・福祉等 運営委員	1回
和歌山障害者就業・生活支援センター 「つれもて」関係機関連絡会	和歌山生活支援 センター	保健・福祉等 運営委員	2回
全国精神保健福祉センター長会	島根県	精神保健福祉 センター所長等	1回
全国精神保健福祉センター所長会	東京都	精神保健福祉 センター所長等	1回
近畿・中部精神保健福祉センター長会	名古屋市 福井県	精神保健福祉 センター所長等	2回
ふれあい人権フェスタ連絡会	和歌山市	フェスタ参加団体	4回
被害者対策連絡協議会	和歌山市	行政関係者	1回
全国精神医療審査会業務担当者会議及び 全国精神医療審査会業務協議会	東京都	精神医療審査会 事務担当者	1回

内 容	場 所	対 象	回数
薬物中毒対策連絡会	大阪府	行政関係者	1回
触法医療観察法	和歌山市	行政関係者	2回
平成16年度近畿ブロック精神保健福祉主幹課長会議	和歌山市	行政関係者	1回
福祉サービス第三者評価事業行政向け説明会	和歌山市	行政関係者	1回
障害者自立支援給付法に関する説明会	和歌山市	行政関係者	1回
精神保健福祉担当者会議	和歌山市	行政関係者	1回
和歌山市ひきこもりネットワーク	和歌山市	行政・保健・福祉 教育関係者	6回
精神保健業務連絡会	和歌山市・有田・ 岩出・伊都地区	行政・保健・福祉 関係者	9回
生活支援センター主催運営会議	和歌山市	行政・保健・福祉関 係者・当事者等	2回
家族会総会等	和歌山市	家族・保健・福祉 行政関係者	2回
青年長期社会体験事業に関する会議	和歌山市	行政関係者	1回
社会福祉法人一麦会関係記念事業	和歌山市	行政・保健・福祉 関係者・当事者等	2回

・学生講義、実習等

内 容	対 象	回数	実人員
和歌山県立高等看護学院講義 「精神保健福祉について」	保健学科学生	8回	13名
和歌山大学附属中学校総合学習 「こころの健康づくりについて」	2年生	1回	1名
和歌山県立医科大学 「精神疾患について」	5年生	2回	60名
YMCA国際福祉専門学校	2回生	13回	80名
労災看護専門学校（校外実習）	3回生	1回	7名
精神保健福祉士（実習）	2回生・4回生	8回	4名

・委嘱・委員等

内 容	場 所	回 数
地域福祉権利擁護事業締結審査会委員	和歌山市	12回
和歌山県社会参加推進協議会委員	和歌山市	1回
社会保険健康づくり事業推進協議会	和歌山市	2回
和歌山県立医科大学附属病院人権擁護委員会	和歌山市	3回
ジョブガイダンス事業運営委員会	和歌山市	3回
和歌山県人権施策推進協議会雇用部会	和歌山市	2回
暴力団等対策連絡会議	和歌山市	1回
紀南障害者就業・生活支援センター	田辺市	1回

・その他

- * 処遇困難事例の事例検討会 9事例7回実施
- * 司法関係機関から保護観察者の診察の依頼があり実施する。
- * 本庁より措置診察の依頼があり3件実施する。

2. 教育研修

保健所、市町村、福祉事務所、社会復帰施設その他の関係機関等で精神保健福祉業務に従事する職員等を対象として、その資質の向上を図るため、精神保健福祉に関する専門的な研修を実施した。

(1) 精神保健関連新任者研修

地域において精神保健福祉行政の窓口となる市町村の精神保健福祉担当職員と、新しく精神保健福祉業務に従事して概ね3年以内の担当者に対する精神保健関連新任者研修を合同で実施した。精神保健福祉の基礎知識並びに実践的な研修を行い、その資質の向上を図るとともに、地域精神保健福祉の向上と地域の基盤づくりに資することを目的に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
H16年6月16日(水) 6月17日(木) 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講義「精神疾患と障害の理解」 講師 和歌山県立こころの医療センター 診療部長 生駒芳久 講義「精神保健福祉制度について」 講師 和歌山県精神保健福祉センター副主査 吉岡範道 講義「相談の受け方の実際」 講師 花園大学社会福祉学部助教授 東 牧子 講義「精神保健福祉の歴史」 講師 和歌山県精神保健福祉センター所長 朝井 忠 事例発表 ・田村病院 精神保健福祉士 川乗賀也 ・和歌山生活支援センター施設長 江上直子 ・南部町保健師 土井幸代 講義「地域精神保健活動の理論と実際」 講師 大阪府立大学教授 三野善央	47名

(2) ひきこもり相談従事者研修

保健所等の精神保健福祉相談の中にひきこもり相談窓口を併設することに伴い、相談従事者が当事者や家族の相談に適切に対応できるよう、相談従事者の資質の向上を目的に実施した。今年度は、ひきこもりの理解とともに、家族面接についての理論を理解と実践力をつけることを目標とした。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
H16年7月2日(金) 7月3日(土) 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講義「ひきこもりの相談の実際について 講義と実習」 講師 システムアプローチ研究所長 吉川 悟	31名

(3) 社会復帰関連問題研修会

精神障害者の社会参加や自己実現のための支援を学ぶことを研修の概要としている。就労支援を通じて社会復帰関連問題を検証することで、就労支援のあり方や就労支援のネットワーク構築について理解し、就労支援の実際の方法について学ぶことを目的として、社会復帰施設従事者及び職親、行政職員等精神障害者の社会復帰の支援に関わる者を対象に研修を行った。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
H16年7月17日(土) 南部町保健福祉センター (南部町)	講義 「就労支援のしくみと今後の動向－雇用義務制度実現の課題」 講師 西南学院大学教授 舘暁夫 実践報告 1) 就労SSTの取り組みから 紀南障害者就業・生活支援センター 小谷斉 2) 職親としての取り組みから 有限会社カネイワ醤油 岩本行弘 3) ジョブコーチ支援事業と事業所支援 和歌山障害者職業センター 工藤安子	62名

(4) 精神障害者訪問介護員講習会

対象者のニーズに応じた適切なホームヘルプサービスを提供するため、精神障害に関する知識や精神障害者との関係づくりの方法を習得することを目的に、ホームヘルパーの資格を有する者を対象に紀北地域と紀南地域の2カ所で実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
H16年6月30日(水) 和歌山ビッグ愛 (和歌山市) 施設研修	講義 「精神保健福祉施策と制度」 講師 精神保健福祉センター 副主査 吉岡範通 「精神障害の基礎知識」 講師 国保野上厚生総合病院 精神科医長 上野半兵衛	実人員 140名 修了証書交付 138名
H16年7月7日(水) ～7月15日(木) 5日間 (実習施設)	講師 麦の郷高齢者地域生活支援センター ケアマネージャー 日野のぞみ 「精神障害者を持つ家族の立場として」 講師 和歌山県精神障害者家族会連合会 会長 大島信雄	
社会福祉法人一麦会 「麦の郷作業所」 (3日間)	* 施設研修 講義、施設見学、当事者との交流会	
社会福祉法人やおき福祉会「やおき工房」 (2日間)		

開催日・会場	テ ー マ ・ 講 師	受講者数
H16年9月10日(金) 東牟婁振興局 会議室	講義 「精神障害の理解と基礎知識」 講師 医療法人両茂会岩崎病院 精神神経科医師 井谷隆典 「精神障害者ホームヘルプサービス 援助内容と援助特性」 講師 和歌山県精神保健福祉センター 主査 尾崎則子 「精神保健福祉施策と制度」 講師 新宮保健所 主査 長島 隆 「精神障害者を持つ家族の立場として」 講師 和歌山県精神障害者家族会連合会 会長 大畠信雄	実人員 28名 修了証書交付 26名
施設研修 どんぐりの家 H16年9月14日(火) ～9月29日(水) (6日間)	講義・施設見学・当事者との交流	26名

(5) 精神障害者訪問介護員フォローアップ研修

精神障害者ホームヘルプサービスが実施されて1年以上が経過し、各市町村においても積極的な取り組みがなされている。しかし、より良いサービスを提供していくためには9時間の養成研修の受講だけでは十分とは言えず、精神障害者訪問介護員養成講習を修了し、精神障害者ホームヘルプサービスを行っている者を対象にフォローアップ研修を実施した。

開催日・会場	テ ー マ ・ 講 師	受講者数
H16年10月27日(水) 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講義「精神障害者ホームヘルプサービスの意義と課題」 講師 花園大学社会福祉学部講師 三田優子 実践報告 「当事者のニーズを生かしたサービス」 事例発表(2事業所の実践事例)・グループ討議	実人員 52名

(6) 精神科看護職員等人権セミナー

和歌山県精神保健福祉審議会が提出した「県内の精神科病院における入院患者の権利擁護等に関する取り組みについて」のなかで、医療従事者に対する研修の充実という提言を受けて、精神医療の現場に勤務する看護職員等を対象に実施した。

開催日・会場	テ ー マ ・ 講 師	受講者数
H16年10月7日(木)	(1日目)	実29名
H16年10月8日(金)	講義「精神保健福祉法の理解」	延87名
H16年10月14日(木)	及びグループ討議「人権擁護の課題」	
H16年10月17日(日)	講師 県健康対策課主査 中川浩二	シンポジウム
和歌山ビッグ愛	講義「精神医療の歴史」	69名
医療法人桐葉会	講師 和歌山県精神保健福祉センター所長 朝井忠	
木島病院	講義「精神科におけるチーム医療」	
医療法人桐葉会	講師 河田病院看護師長 吉川隆博	
木島病院	講義「精神科入院者への対応」	
和歌山ビッグ愛	講師 ハートランド信貴山看護部長 窪田澄夫	
医療法人桐葉会	(2日目)	
木島病院	病院見学：人権擁護に関する取り組み	
和歌山ビッグ愛	医療法人桐葉会木島病院	
医療法人桐葉会	(3日目)	
木島病院	これからの精神科病院について考える	
和歌山ビッグ愛	講演「精神科病院での人権擁護について」	
医療法人桐葉会	講師 楓こころのホスピタル院長 南川博彦	
木島病院	シンポジウム	
和歌山ビッグ愛	「これからの精神科病院に求められること	
医療法人桐葉会	～地域とつながりを持つ～」	
木島病院	座長	
和歌山ビッグ愛	和歌山県精神保健福祉センター所長 朝井忠	
医療法人桐葉会	シンポジスト	
木島病院	和歌山県こころの医療センター看護部長 仁木 満	
和歌山ビッグ愛	大阪こころの健康センター地域支援課長 吉原明美	
医療法人桐葉会	読売新聞大阪本社科学部次長 原 昌平	

(7) 障害者ケアマネジメント従事者養成研修

障害者ケアマネジメント従事者を養成することにより、障害者ケアマネジメント体制支援事業の円滑な実施に資することを目的とする。市町村職員及び精神障害者地域生活支援センター等の各相談事業に従事している者を対象に実施した。一部を身体・知的・精神分野別に実施。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
1日目 H16年12月9日(木)	(1日目) 講義「ケアマネジメント概論」 講師 大阪市立大学 清水由香	実人員 90名
2日目 12月10日(金)	講義「障害者福祉の動向」 講師 県障害福祉課主任 市川雅章 県健康対策課主査 中川浩二	精神30名 (内29名 修了)
3日目 12月20日(月)	講義「ケアマネジメントの実施方法」 講師 高野山大学客員教授 藤田和正 講義「障害者の権利擁護」 講師 県社会福祉協議会主事 清水綾乃	延人員 360名 精神
4日目 12月21日(火) 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講義「福祉サービスにおける苦情解決」 講師 県運営適正化委員会事務局 榎本孝治 講義「地域生活支援～サービス調整会議と資源開発～」 講師 御坊市健康対策課課長補佐 湯川憲治 (2日目) 講義「障害者のニーズ」 パネルディスカッション コーディネーター 麦の郷高齢者生活支援センター 日野のぞみ パネラー 肢体・視覚・聴覚・内部・知的・精神各当事者代表 講義「地域生活支援～就労支援～」 講師 太陽福社会ジョブコーチ 川口晃生 講義「社会復帰施設におけるケアマネジメント」 講師 紀南障害者生活支援センター 村上和也 講義「ケアマネジメントと医療の関係」 講師 和歌山県立こころの医療センター 生駒芳久 (3日目) 演習ガイダンス「～方法と実際～」 講師 ワーナーホーム理事長 寺田一郎 相談面接・アセスメント演習 (4日目) ケア計画作成演習Ⅰ・Ⅱ	114名

(8) ケアマネジメント従事者上級者研修

地域におけるケアマネジメント従事者に対する研修・指導・助言及び相談支援体制の構築・推進等について中核的な役割を担う者を養成し、もって地域の相談体制の充実並びに障害者ケアマネジメント体制支援事業の円滑な実施に資することを目的に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
H17年1月19日(水) ～1月21日(金) 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講義「障害者マネジメントの理論と実際」 講師 日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科教授 木村真理子 講義「障害者ケアマネジメントにおける・ 技術の整理・評価・スーパーバイズ(伝達講習)」 講師 紀北地域障害児支援センター 障害児(者)地域療育等支援事業コーディネーター 山田博章 講義「地域支援について」 講師 滋賀県福祉事業団企画事業部 地域ケアシステム推進事業担当 中島秀夫 * ケアマネジメント演習Ⅰ 「地域生活支援システム」 ケアマネジメント演習Ⅱ 「個別事例」 講義「ケアマネジメントの地域での展開」 講師 オープンスペースレガーと常務理事 牛谷正人 パネルディスカッション 愛の園 山崎賢士 由良みのり園 杉谷 修 御坊市・日高地方 障害者生活支援センター「あおぞら」 中橋淳子 湯浅保健所 栗田直嗣 やおき福祉会 坂本直史	27名 (精神9名) 延人員 81名 (精神21名)

(9) S S T初級研修

平成14年度から、精神障害者居宅生活支援事業が開始され、精神障害者の住宅福祉サービスの充実をより一層すすめていくことが急務の課題となっている。今回の研修では、集団援助技術の一手段として、S S T（社会生活技能訓練法）の知識と技能をロールプレー等を通して学び、精神障害者の地域生活支援活動に応用できることを目的としている。

開催日・会場	テ ー マ ・ 講 師	受講者数
H16年12月16日(木) 12月17日(金) 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講義、ロールプレー等 講師 神戸総合医療介護福祉専門学校 岸本徹彦	22名

(10) 思春期セミナー

最近の子ども達の動向（社会情勢をふまえての子ども達を取り囲む環境）と、軽度発達障害についての理解をふまえた上で、家族・学校・関連施設がどのように関連しながら子ども達をサポートしている実践をとおして講演をいただいた。本年度は田辺保健所、思春期精神保健サポートネットワークと共催で行った。

開催日・会場	テ ー マ ・ 講 師	受講者数
H17年1月22日(土) 西牟婁振興局 大会議室 (田辺市)	講義「思春期の子ども達に対する地域精神保健活動」 講師 北海道大学大学院教育研究科教授 田中康雄	83名

3. 普及啓発

一般住民や関係機関に対し、精神保健福祉や精神障害についての知識や情報を提供するため、次のとおり講演会や出版物の作成等、普及啓発活動を行った。

(1) 講演会等

・こころの健康講座

地域住民が心の健康について関心をもち、自ら心の健康増進を図れるための知識の普及を目的に、実施した。今年度は、自殺予防対策を視野に入れ、うつ病の理解について県内2カ所で実施した。

開催日	平成16年8月10日(火)
会場	岩出町総合保健福祉センター
参加者	80名
内容	講義「もし家族がうつ病になったら」 講師 和歌山県立医科大学神経精神医学教室教授 篠崎 和弘

開催日	平成17年2月8日(火)
会場	紀南文化会館
参加者	118名
内容	講義「もし家族がうつ病になったら」 講師 和歌山県立医科大学神経精神医学教室教授 篠崎 和弘

・セルフヘルプセミナー

こころの健康づくりについての普及啓発や情報発信、セルフヘルプグループと県民との出会いの場の提供を目的に実施した。

開催日	平成17年3月26日(土)
会場	和歌山ビッグ愛
参加者	64名
内容	講義「あなたは、ひとりぼっちじゃない — 仲間との出会い —」 講師 元日本ダルク事務局長 和高優紀 パネルディスカッション テーマ「私とセルフヘルプグループ」 パネラー かなりあしょっぷ (摂食障害自助グループ) AA (アルコール依存症自助グループ) 断酒会 (アルコール依存症自助グループ) チーム紀伊水道 (性同一性障害自助グループ) 紀の国会 (和歌山県精神障害者団体連合会) * 出会いミーティング

・わかやまこころのフェスティバル

県民の精神的な健康の保持及び増進と精神障害者の福祉の増進を図るために、一般県民、関係団体及び行政が「相互理解」を深め、啓発活動を行うことを趣旨として実施した。

開催日	平成16年12月4日(土)～12月5日(日) 「ふれあい人権フェスタ」との共同開催
会場	和歌山ビッグホエール
参加者	10,000名
内容	講演「化粧とこころの癒し」 講師 REIKO KAZUKI フェイスプランナー 長田文子

・精神保健福祉講座 *精神保健福祉協会と共催

開催日	平成16年5月29日(土)
会場	かつらぎ町
参加者	50名
内容	講演「こころって何？」 講師 和歌山県立こころの医療センター医師 生駒芳久

・和歌山こころのつどい *精神保健福祉協会と共催

精神保健福祉に関する知識の普及と心の健康づくり推進のため、精神保健福祉協会総会において実施した。

開催日	平成16年7月1日(土)
会場	和歌山市
参加者	100名
内容	講演「家族はいま～家族療法の立場から～」 講師 システムアプローチ研究所所長 吉川 悟

・交流ロビー展 *精神保健関係の各団体共同で団体支援と啓発を目的に実施した。

開催日	平成16年10月31日(日)～11月1日(月)
会場	和歌山ビッグ愛
参加者	50名
内容	作品の展示販売、箱庭療法の体験、ピュアカウンセリング等実施

・精神障害者ソフトバレーボール大会 *精神保健福祉協会と共催

精神障害を持つ人がスポーツを楽しみ、体力の維持・増進を図り、仲間とのふれあいを体験することによって、社会の障害者に対する理解をより一層深め、精神障害者の社会参加を推進するとともに、全国障害者スポーツ大会への参加意識向上に資することを目的に実施した。

開催日	平成16年11月4日(木)
会場	和歌山ビッグホエール
参加者	病院や施設より12チームが参加

(2) 広報出版物等

・精神保健福祉センター便り

関係機関への情報提供と県民への啓発のため、社会復帰施設や自助グループの紹介、最新情報、県内の精神保健福祉の動向、センターの研修お知らせ等を掲載し、年4回発行している。

	送付機関数	発行部数
第15号	229	503
第16号	229	503
第17号	231	508
第18号	231	510
合計		2024

・メンタルヘルスガイドブック

2000部作成し、保健所及び関係機関に配布。

・精神保健福祉協会誌（精神保健福祉協会事務）

協会員向情報誌「こころ」を800部作成し、会員に配布した。

・県広報誌「県民の友」に、『特集こころの健康づくり “あなたのこころは元気ですか”』と題して、精神保健福祉センターの紹介を行った。

・図書、ビデオの貸し出し

	保健所	市町村	医療機関	社会復帰施設	その他	合計
図書	10	2	5	4	28	49
ビデオ	7		4	1	44	56
合計	17	2	9	5	72	105

・その他

・ホームページの更新（平成17年3月）

・精神保健福祉をテーマにした人権啓発用ビデオ制作に協力。（所長と精神保健福祉士が出演）

・精神保健福祉センターの交流ロビーを作品展示等に2団体が使用。

4. 調査研究

(1) 思春期精神保健に関するアンケートの実施

目的：医療機関における思春期精神保健の取り組み状況についての実態把握と思春期精神保健支援体制の推進のため。

対象：県内の精神科を有する医療機関（32カ所）

回収率：87.5%

調査方法：当センターより直接送付し、ファックスにて回収した。

結果：

この調査で、デイケアなどの集団療法を実施しているところや思春期の特定外来を実施している医療機関は少ないが、今後思春期の病棟を含め思春期の症例への対応を検討している医療機関があり、少しずつだが思春期・青年期の問題について取り組みを考えていることがわかった。

今回調査の対象には入れていないが県内には、西牟婁地域に1カ所児童・思春期の症例を専門に診ている医療機関が1カ所あるが、東牟婁地域で児童・思春期の対応をしてくれる医療機関がないことがわかった。

近年の不登校や摂食障害、虐待、災害時のこころの問題など思春期をはじめとする子ども達の精神保健上の問題に対する取り組みの必要性が取りだたされる中、今後、当県においても児童・思春期に対応できる専門病棟やデイケアなどの全県下を視野に入れた体制整備、クライシスレスポンスチーム（CRT）の体制整備などこの調査をうけて検討課題としたい。

* 結果については、次ページのグラフ参照

(2) 精神障害者の保健福祉施策等の調査

目的：県内の市町村の精神保健福祉施策の実施状況を知り、各市町村の精神保健福祉対策の取り組みを推進と体制整備を図るため。

対象：県内50市町村

回収率：100%

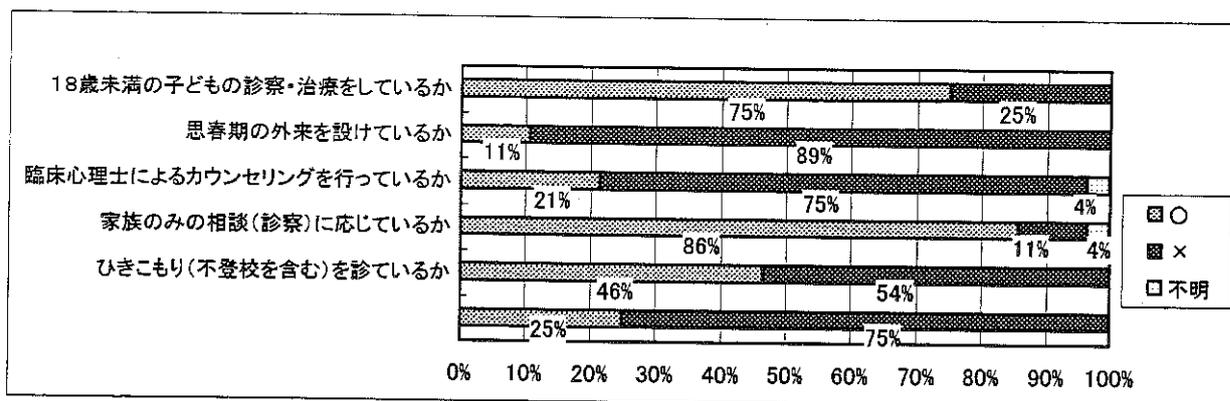
調査方法：保健所より市町村に送付し、保健所で取りまとめ回収。

結果：県の地理的な特徴により、精神保健福祉手帳のサービスとして紀北地方では作業所等の利用時の費用の補助をつけている市町村が多い。また、医療費の助成については保健所単位で偏りがあった。この調査を2年前から実施しているが、ホームヘルプサービスについては、前年度に比べ実施している市町村が増えている。（P38別表のとおり）この調査結果は精神保健福祉施策の推進の参考資料としてもらうため、各市町村へ返している。

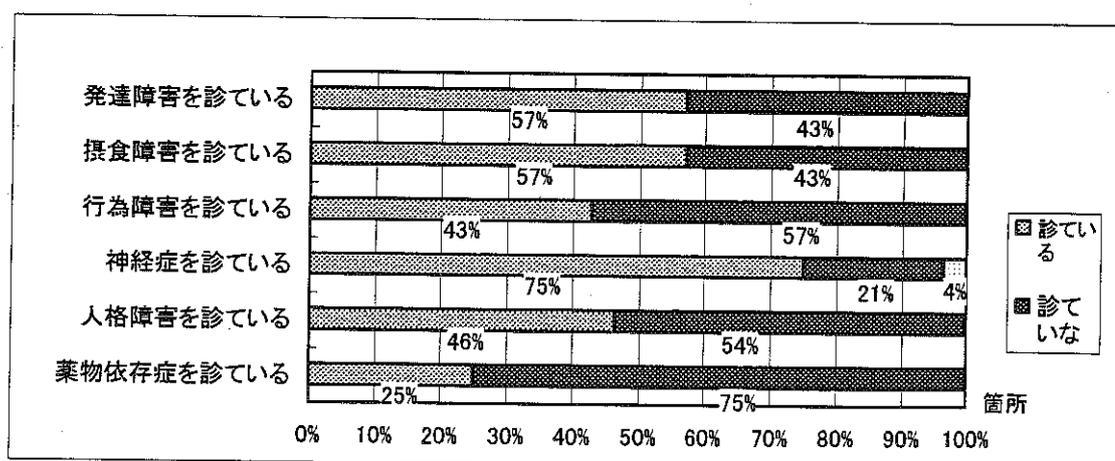
* 調査結果は、市町村の精神保健福祉施策の一覧として、資料として添付している。

思春期精神保健アンケート

	○	×	不明
18歳未満の子どもの診察・治療をしているか	21 (75%)	7 (25%)	0
思春期の外来を設けているか	3 (10.7%)	25 (89.3%)	0
臨床心理士によるカウンセリングを行っているか	6 (21.4%)	21 (75%)	1 (3.6%)
家族のみの相談(診察)に応じているか	24 (85.7%)	3 (10.7%)	1 (3.6%)
ひきこもり(不登校を含む)を診ているか	13 (46.4%)	15 (53.6%)	0
子どものPTSDを診ているか	7 (25%)	21 (75%)	0



	発達障害	摂食障害	行為障害	神経症	人格障害	薬物依存症
診ている	16 (57.1%)	16 (57.1%)	12 (42.9)	21 (75%)	13 (46.4%)	7 (25%)
診ていない	12 (42.9%)	12 (42.9)	16 (57.1%)	6 (21.4%)	15 (53.6%)	21 (75%)
不明				1 (3.6%)		



「今後、児童・青年期を対象に診療をすることを検討中か」の質問に「検討中」と答えた病院等は28件中9件、「考えていない」と答えたのは14件、「不明」は4件だった。

また、「思春期の事例について入院の受け入れは可能か」の質問に「可能」と答えた病院等は5件、「不可能」と答えたのは16件、「事例による」は6件、「不明」は1件だった。

(3) 精神保健福祉ボランティアアンケート

目的：精神保健ボランティアの実態を調査し、安定した精神保健ボランティア活動のために必要な条件を分析するため

対象と回収数：1) 保健所 8 保健所・1 支所（中核市を含む）・市町村 47 市町村
社会福祉協議会 5 カ所・作業所等の社会復帰施設 9 カ所・医療機関 5 カ所
2) ボランティアグループ 9 グループ
3) ボランティア個人 165 人

調査方法と結果：関係機関用は、保健所を通じて市町村・社会福祉協議会に送付、医療機関と社会復帰施設には精神保健福祉センターより直接送付し、ファックスにて回収。グループ用と個人用は関係機関で対象に送付し、郵送またはファックスで回収した。

結果：この調査を実施して、市町村や社会福祉協議会は、精神保健福祉ボランティアの育成支援を必要と考えているものの、人材不足や時間等の理由でする予定がないと答えている。しかし、ボランティアは保健所より身近な市町村や社会福祉協議会の支援を多く望んでいる事がわかった。今まで保健所が中心にボランティアの育成支援をしてきた。しかし、社会的入院者の退院促進をすすめていることや、精神障害者の福祉施策を市町村が主体となっ
て行っていくことを考慮するならば、今後市町村と市町村の社会福祉協議会が主体となっ
て地域作りという視点に立ってボランティアの育成支援をいくことが望ましい。

保健所は、今までのボランティア育成支援のノウハウを伝達・支援する必要がある。

また、ボランティアをしたいが活動の場がないと答えた人が多かったことから、今後、精神保健福祉ボランティアについて活動の場や方法についての情報提供や守秘義務や事故時の対応などの問題など受け入れ側の環境整備等の体制づくりについて検討が必要であることがわかった。

精神保健福祉ボランティアアンケート(関係機関用).....アンケート回答者 73機関

問2以降のグラフの()内は機関の数

あてはまる箇所を○で選んで下さい。

1. 関係機関の種別

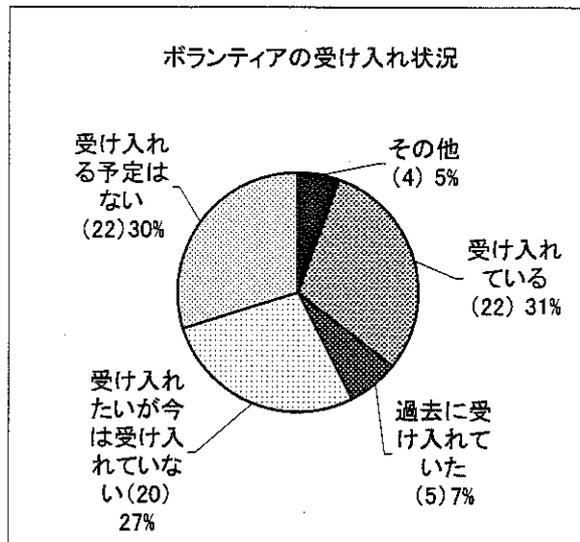
アンケート記載者職種

施設長	4
スタッフ	30
その他	1
無回答	38
計	73

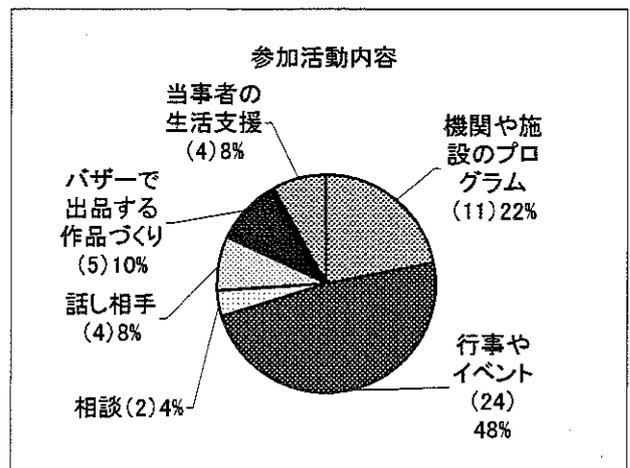
保健所	9	福祉ホーム・グループホーム	0
市町村	45	地域生活支援センター	1
病院デイケア	4	社会福祉協議会	5
作業所・授産施設	7	家族会	1
生活訓練施設	0	その他	1
生活機能訓練施設(援護寮)	0	計	73

2. ボランティアの受け入れ状況について

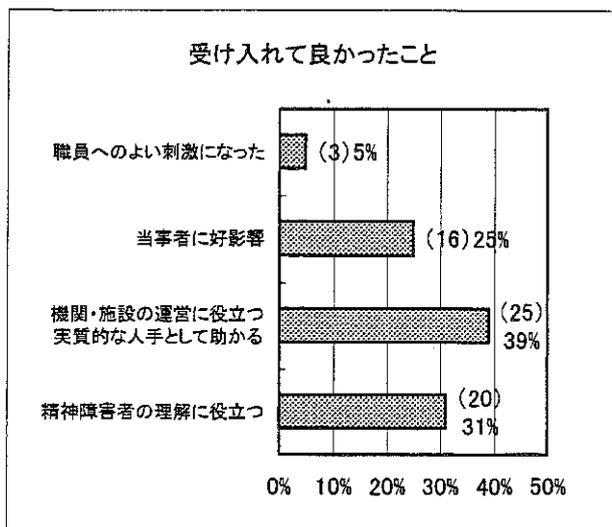
3. 今までにボランティアを受け入れた実績のある機関(27ヶ所)にお伺いします。(複数回答)



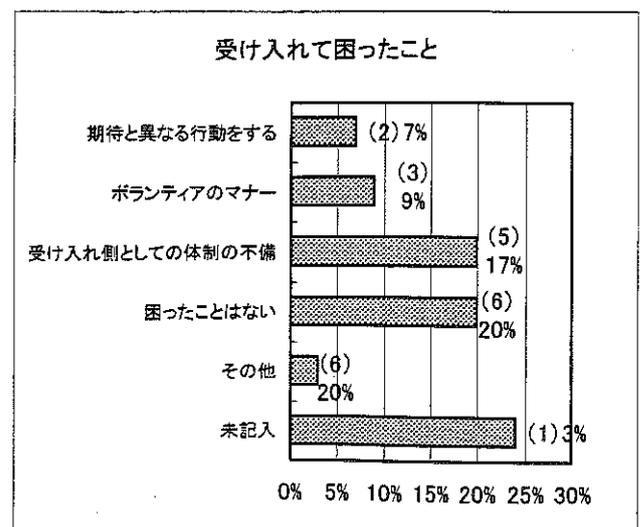
A. ボランティアの参加活動内容



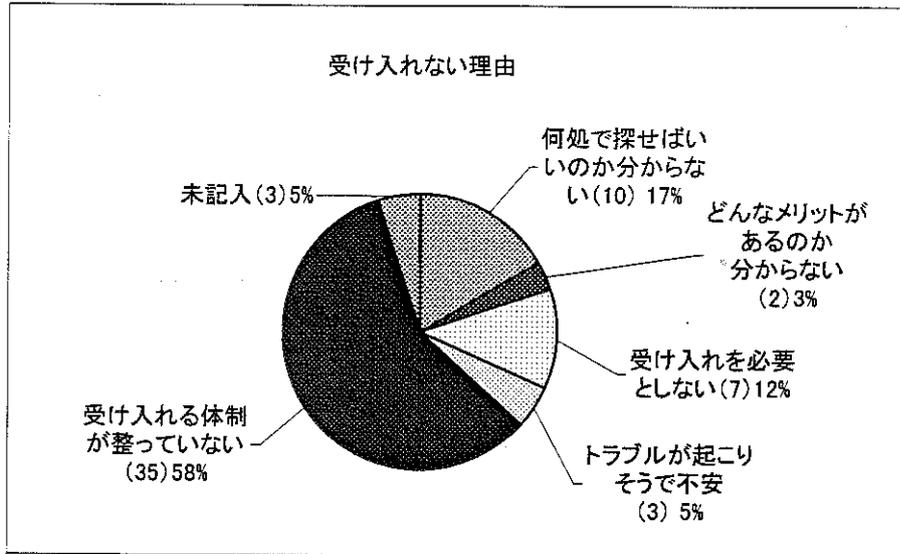
B. 受け入れてよかったこと



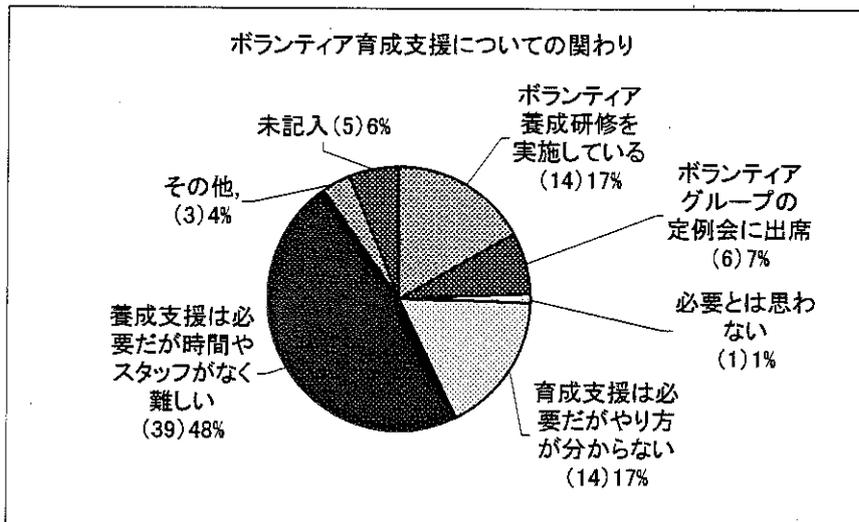
C. 受け入れて困ったこと



4. 受け入れた実績のない機関(42ヶ所)にお伺いします。受け入れないのは、どのような理由からですか？
(複数回答)

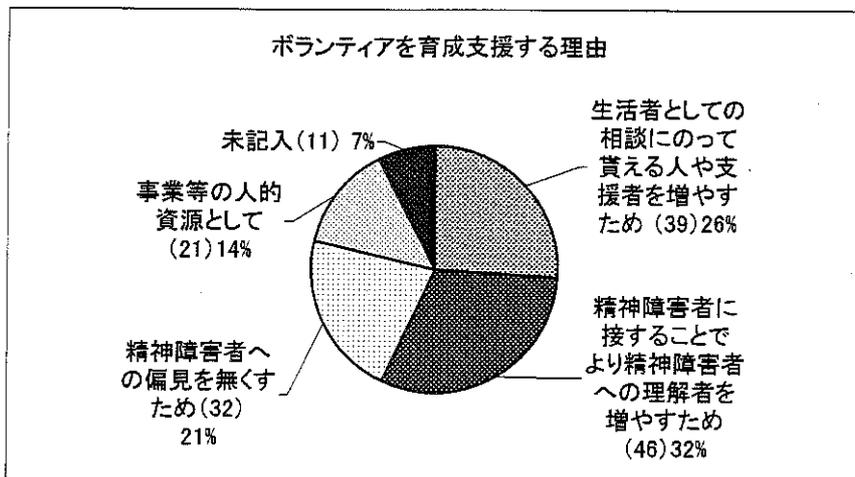


5. ボランティア育成支援について貴機関の関わりについてお伺いします。



6. ボランティアの育成支援が必要と考えている機関にお伺いします。

A. どうして精神保健福祉ボランティアを育成支援する必要があると思いますか？

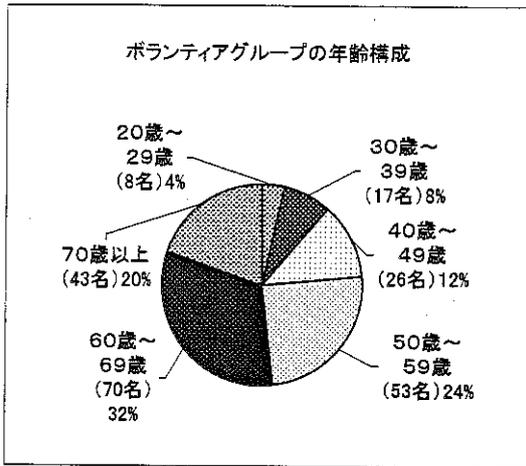


精神保健福祉ボランティアアンケート(ボランティアグループ用).....アンケート回答者 9グループ

問3以降のグラフの()内はグループの数

1. あなたのボランティアグループの年齢構成について教えてください。

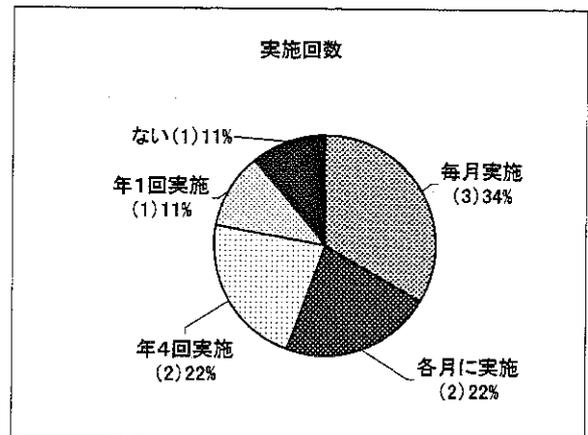
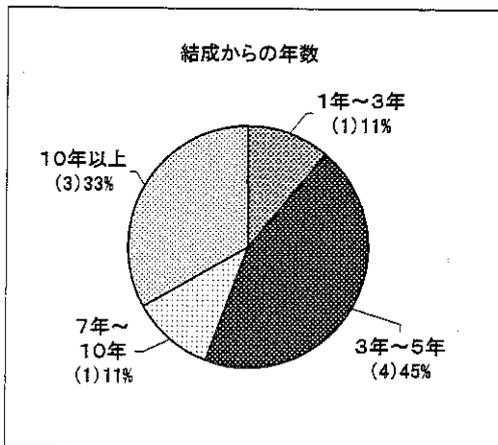
2. あなたのボランティアグループの主な目的は何ですか。(複数回答)



精神障害者の生活支援	3	19%
資金面での支援	1	6%
イベントや行事への人的支援	8	50%
精神障害者の話し相手	2	13%
その他	2	13%
計	16	100%

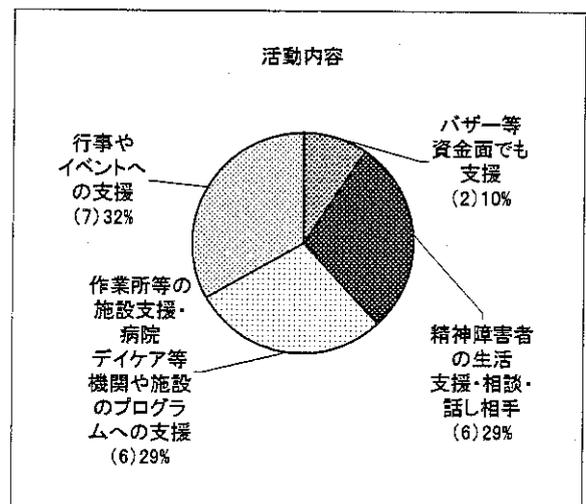
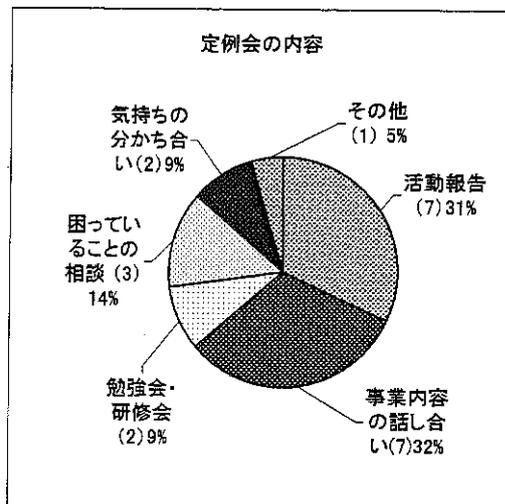
3. 結成から何年ですか？

4. 定例会を実施していますか？

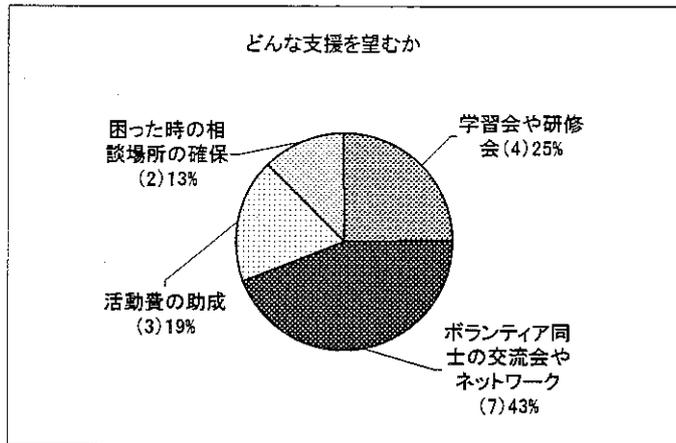


5. 定例会を実施しているグループに定例会の内容をお伺いします。(複数回答)

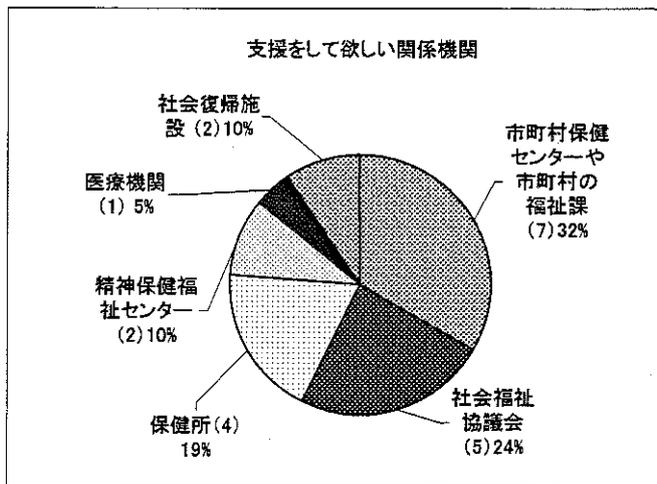
6. 今実施しているボランティア活動はどのような内容ですか？(複数回答)



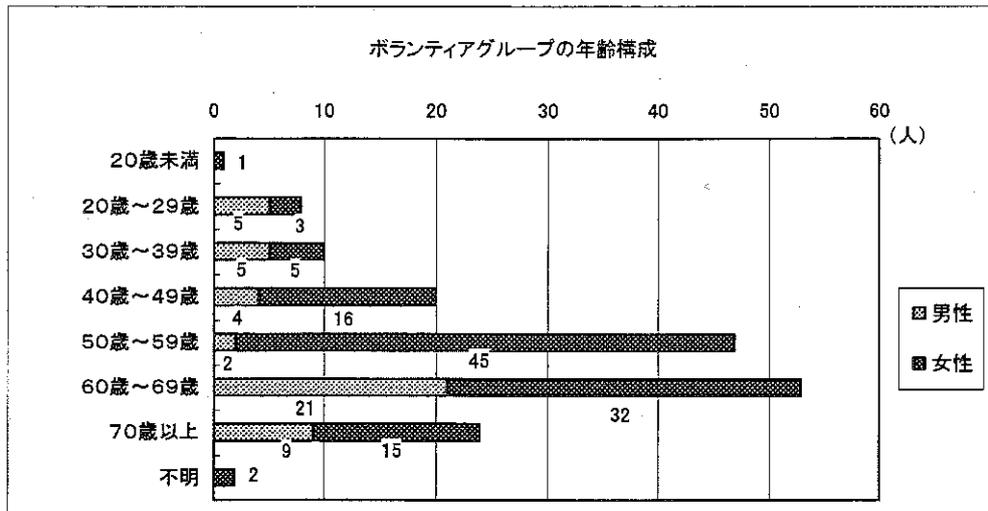
7. 望む支援はどのような事ですか？(複数回答)



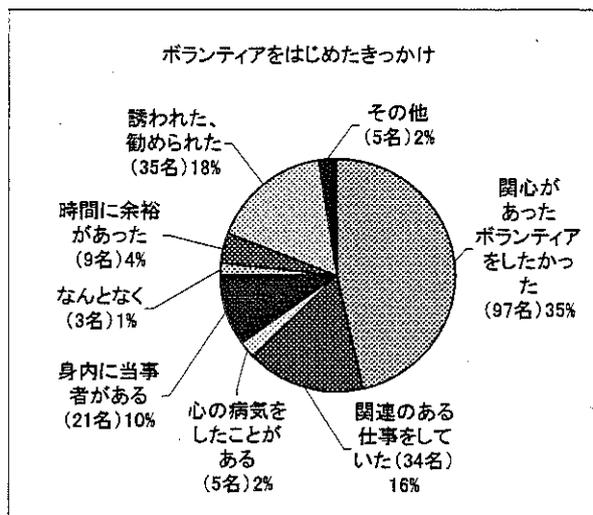
8. 支援をして欲しい関係機関は何処ですか？(複数回答)



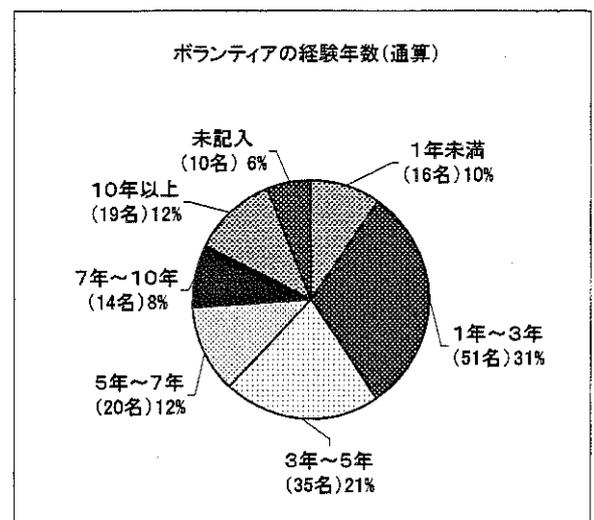
あなたのボランティアグループの年齢構成について教えてください。(問1・2)



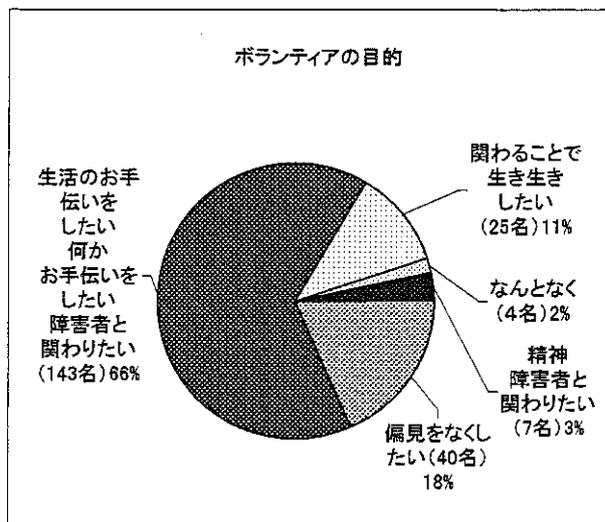
3. ボランティアをはじめたきっかけは何ですか？(複数回答)



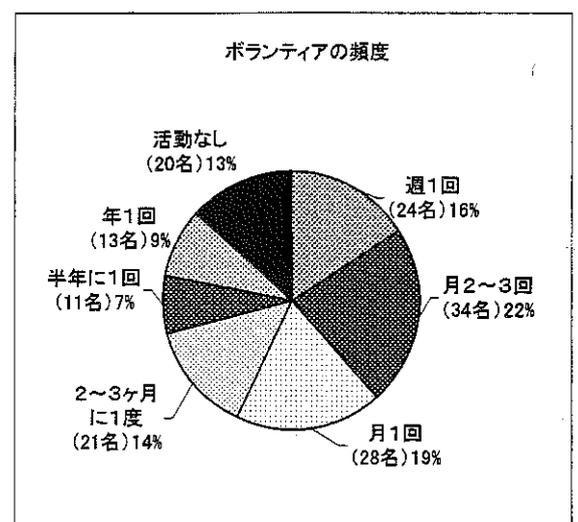
4. 通算のボランティアの経験年数



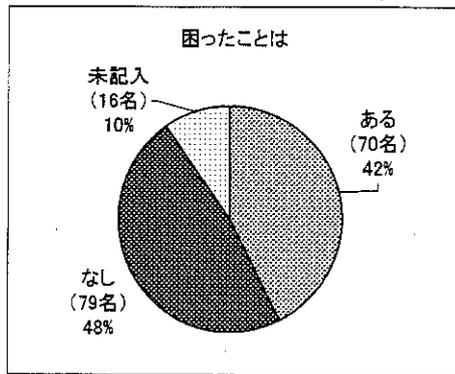
5. ボランティアの目的は何ですか？(複数回答)



6. 最近1年間のボランティアの頻度



7. ボランティア活動で困ったことはありますか？



8. 困った事柄はどのような事ですか？（複数回答）

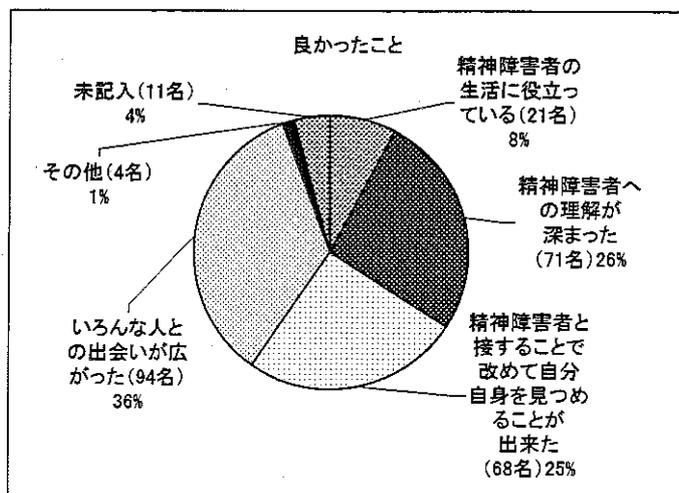
困ったことがない	82	36%
相談するところがない	4	1%
活動の継続について	15	7%
活動の内容について	20	9%
活動の場所がわからない	5	2%
当事者のマナー	8	4%
当事者の日常生活に関すること	11	5%
接し方	36	16%
当事者の医療に関すること	12	5%
ボランティア同士の間関係	10	4%
医療機関との関わり	2	1%
その他	7	3%
未記入	16	7%
計	228	100%

9. 困った事柄はどのような事ですか？（複数回答）

困ったことがない	82	36%
相談するところがない	4	1%
活動の継続について	15	7%
活動の内容について	20	9%
活動の場所がわからない	5	2%
当事者のマナー	8	4%
当事者の日常生活に関すること	11	5%
接し方	36	16%
当事者の医療に関すること	12	5%
ボランティア同士の間関係	10	4%
医療機関との関わり	2	1%
その他	7	3%
未記入	16	7%
計	228	100%

10. ボランティアをして良かったことは何ですか？（複数回答）

精神障害者の生活に役立っている	21	8%
精神障害者への理解が深まった	71	26%
精神障害者と接することで改めて自分自身を見つめることが出来た	68	25%
いろいろな人との出会いが広がった	94	35%
その他	4	2%
未記入	11	4%
計	269	100%



5. 精神保健福祉相談

県民のこころの悩みや精神疾患等に関する健康相談を電話及び面接により実施した。所内相談は、原則として予約制で実施している。電話相談は、一般回線とこころの電話専用回線とで受けている。さらに特定相談として、囑託医による思春期・青年期相談を実施している。所外相談は、市町村から依頼を受けて実施した相談を掲載している。

		延件数
所内相談		235
所外相談		94
電話	一般	158
	こころの電話	458

(1) 所内相談

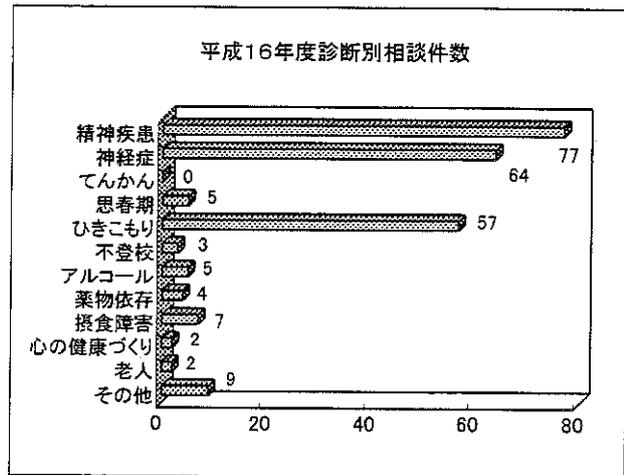
年齢別相談件数

延件数・・・()内は実数

年齢	男性	女性	合計
0～9	1(1)		1(1)
10代	22(12)	5(5)	27(17)
20代	32(19)	12(12)	44(31)
30代	89(27)	9(8)	98(35)
40代	5(5)	3(3)	8(8)
50代	14(5)	10(3)	24(8)
60～64	3(2)	11(2)	14(4)
65～	15(2)	4(4)	19(6)
不明			
合計	181(73)	54(37)	235(110)

診断別相談件数

	男性	女性	合計
精神疾患	59(20)	18(11)	77(31)
神経症	47(5)	17(8)	64(13)
てんかん		0	0
思春期	4(4)	1(1)	5(5)
ひきこもり	53(26)	4(4)	57(30)
不登校	3(3)	0	3(3)
アルコール	4(4)	1(1)	5(5)
薬物依存	3(3)	1(1)	4(4)
摂食障害		7(6)	7(6)
心の健康づくり	2(2)	0	2(2)
老人		2(2)	2(2)
その他	6(6)	3(3)	9(9)
合計	181(73)	54(37)	235(110)



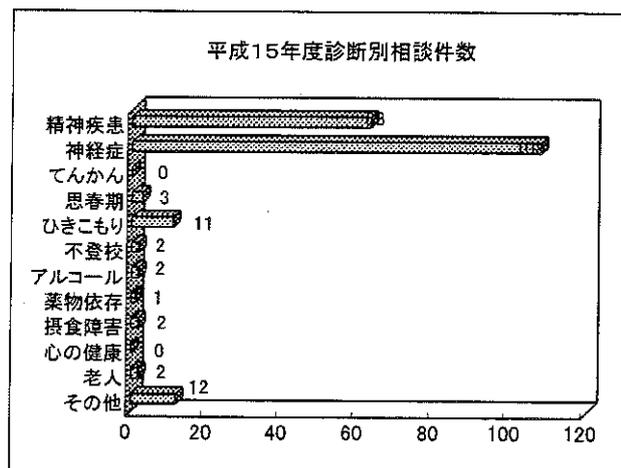
(2) 所外相談

年齢別相談延件数

年齢	男性	女性	合計
0～9			0
10代			0
20代			0
30代	2		2
40代	9	8	17
50代	13	7	20
60～64	4		4
65～	20	31	51
不明			0
合計	48	46	94

診断別相談延件数

	男性	女性	合計
精神疾患	31	17	48
神経症	1		1
てんかん			0
思春期			0
ひきこもり			0
不登校			0
アルコール			0
薬物依存			0
摂食障害			0
心の健康づくり			0
老人	16	29	45
その他			0
合計	48	46	94



(3) 電話相談

保健所管内別延件数

保健所別	男性	女性	不明	合計
和歌山市	113	109	0	222
岩出	9	12	0	21
高野口	14	7	1	22
海南	14	18	0	32
湯浅	6	9	0	15
御坊	11	45	0	56
田辺	12	12	0	24
新宮	4	11	0	15
古座支所	1	0	0	1
県内	9	41	1	51
県外	13	24	0	37
不明	34	77	9	120
合計	240	365	11	616

相談内容別男女別延件数（重複あり）

相談内容	男性	女性	不明	合計
治療診断のこと	117	159	6	282
リハビリテーションの問題	16	8	0	24
知的・発達上の問題	4	2	0	6
教育上の問題	12	3	0	15
ひきこもり	50	18	1	69
人間関係の問題	38	92	0	130
その他の性格、行動上の問題	22	25	0	47
身体上の問題	4	7	0	11
結婚、性に関する問題	12	5	0	17
アルコール	15	8	0	23
薬物中毒の問題	4	0	0	4
摂食障害	4	11	0	15
老人の問題	5	13	0	18
患者（対象者）へのかかわり方	12	12	0	24
その他	40	42	4	86
合計	355	405	11	771

年代別男女別延件数

年代	男性	女性	不明	合計
乳幼児	0	0	0	0
児童	9	5	1	15
思春期	33	22	0	55
成人	183	309	4	496
老人	14	26	1	41
不明	1	3	5	9
合計	240	365	11	616

処遇状況（重複あり）

処遇	男性	女性	不明	合計
電話カウンセリング・助言	165	281	2	448
来所相談を勧める	17	16	0	33
情報提供・紹介	75	92	9	176
かけ直し依頼	5	2	0	7
その他	3	9	0	12
合計	265	400	11	676

6. その他の事業

1) 薬物依存症者回復施設支援連絡会

薬物依存症者の回復支援ネットワーク構築を目的に日本ダルク職員や司法関係者、NPO等民間団体、行政関係者が集まり連絡会を実施した。(年6回、延べ78名の参加)

平成17年5月には、薬物依存症者回復施設和歌山ダルクが開設に至っている。

開催日	内 容	参加人数
平成16年 5月	和歌山県の現状及びダルクの活動の紹介	20人
平成16年 7月	当事者の状況及び今後の取り組みの方向について	18人
平成16年 9月	全国の回復者施設の状況	7人
平成16年11月	電話相談及び施設候補地について	9人
平成17年 1月	薬物回復者施設の地域活動について	10人
平成17年 3月	施設候補地物件及び支援体制について	14人

2) 思春期精神保健連絡会

思春期精神保健のネットワークの構築と体制整備を目的に平成15年度より年2回実施している。平成15年度から2年間は、ひきこもり支援をテーマに各機関の取り組みや課題について情報交換を行い、県としての課題と必要な事項について検討を行った。この連絡会での討議をうけて、当センターが行った医療機関を対象とした思春期精神保健のアンケート結果の報告や思春期精神保健に関する相談支援のフローチャートとひきこもり支援体制のフローチャートを作成し、関係機関に示した。

実施日	内 容	
平成16年8月20日(金) 13:30~16:00	1 「ホ-タ-養成事業」と家族への「出前支援」事業について 報告者 NPO法人レインボーハウス 大西博子 2 相談後のフォロー等における各関係機関の役割と連携	22人
平成17年3月9日(水) 13:30~16:00	1 思春期地域精神保健活動・教育機関との連携から 講師 南紀福祉センター医師 宮本 聡 2 青年期社会体験活動事業について 青少年課班長	19人

*参加機関 健康対策課・青少年課・教育委員会・保健所・民間機関・不登校親の会
田辺市等

3) 社会的ひきこもり者家族教室

家族が本来持っている自助的機能を回復・強化し、家族の抱えている問題の解決を目指すことを目的に「社会的ひきこもり者」の家族の支援の一環として実施した。

	日時	教育セッション	講師	フリートーク	参加人数
1	平成16年 12月17日 (金)	社会的ひきこもりと 回復のプロセス	和歌山大学教授 宮西照夫	終了時にどうな っていたいか	14名
2	平成17年 1月12日 (水)	社会的ひきこもりと 精神症状	南紀療育センター 医師 宮本 聡	子どもの問題 行動と家族の 対応	11名
3	1月28日 (金)	家族へのガイドライン ビデオ 「こうすれば子供と対 話ができる」 ひきこもり完全脱出 マニュアル	精神保健福祉センター 主査 尾崎則子	親の気持ちを どう伝えれば いい?	10名
4	2月4日 (金)	コミュニケーションに ついて 「いい」ということを 伝えよう!	精神保健福祉センター 主査 尾崎いづみ	子どもに勉強会 に参加している ことをどう伝え るか	9名
5	3月25日 (金)	自立について考える	和歌山大学 教授 宮西照夫	教室に参加して 変わったこと	9名

7. 精神保健福祉法に伴う事務

精神保健福祉法第12条の規定に基づいて、和歌山県精神医療審査会は、精神障害者の人権擁護とその適切な医療及び保護を図るために設置されている。平成16年度の開催事務及び審査遂行上必要な調査、その他審査に関する事務に対する審査状況は以下の通りである。

また、精神保健福祉法第32条第3項の規定による精神障害者通院医療費公費負担制度、及び同法第45条第1項の規定による精神障害者保健福祉手帳の申請に係る診断書の判定業務を行った。平成16年度の判定実績は表2・表3のとおりである。

区分	届け出等の件数	審査件数	審査結果					計	取下	退院等審査要件の消失	審査中	未審査
			入院等は適当	他の入院形態への移行が適当	入院継続不要	入院又は処遇は不適切						
医療保護入院の届出 (法第33条第1項)	644	644	644	0	0	0	644	0	0	0	0	
定期の 病状 報告書	措置入院者	6	6	0	0	0	6	0	0	0	0	
	医療保護入院者	714	714	0	0	0	714	0	0	0	0	
退院の 請求	措置入院者	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	
	医療保護入院者	() 9	() 9	() 9	() 0	() 0	() 0	() 9	() 0	() 0	() 0	
処遇改 善請求	措置入院者	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	
	医療保護入院者	() 1	() 1	() 1	() 0	() 0	() 0	() 1	() 0	() 0	() 0	
計	1374	1374	1374	0	0	0	1374	0	0	0	0	

平成16年度精神通院人員

保健所名	市町村名	障害 症状性又は器質性精神 障害	遺症 脳血管障害及びその後	老年期痴呆	中毒性精神障害	統合失調症圏	そううつ病圏	その他の精神病	神経症	精神病質	児童・思春期精神障害	てんかん	知的障害	その他	計
和歌山市		8	6	14	66	805	368	143	252	40	2	497	14	250	2,465
海南	海 南 市	3	2	13	8	135	58	20	36	3	0	100	4	118	500
	下 津 町	3	1	7	6	80	37	11	24	1		56	1	82	309
	野 上 町			4	1	33	14	5	4	2		29	2	17	111
	美 里 町		1	1	1	10	5	2	4			11	1	12	45
岩出	岩 出 市	3	1	4	9	166	97	35	57	8	2	89	3	75	549
	打 田 町	1	1		2	27	13	8	6	1		16	1	10	86
	粉 河 町				2	20	6	3	7	1		16		8	63
	那 賀 町	1				15	5	2	4	1	2	6		6	42
	桃 山 町					11	4	4	3			3		7	32
	貴 志 川 町	1			1	29	23	4	13	1		16	1	21	110
高野口	岩 出 町			4	4	64	46	14	24	4		32	1	23	216
	高 野 口 市	6	1	1	16	259	141	56	22	14	0	107	26	63	712
	橋 本 市	5	1	1	8	136	86	32	6	4		69	21	31	400
	か っ ち ら ぎ 町				2	51	22	6	8	6		16	1	10	122
	高 野 口 町	1			4	46	22	13	5	3		14	2	19	129
	九 度 山 町				1	17	6	4	3	1		5	2	1	40
湯浅	高 野 町				1	7	5	1				3		2	19
	花 園 村					2									2
	湯 浅 市	2	1	5	9	233	74	33	67	5	1	96	6	63	595
	有 田 市			1	5	85	24	11	26	2		33	1	23	211
	湯 浅 町	1		2	1	60	19	7	17	1	1	20	2	10	141
	広 川 町			1	3	27	5	2	5			5	1	10	59
御坊	吉 備 町		1			21	17	4	8			21		9	81
	金 屋 町	1		1		22	6	5	6			13	2	8	64
	清 水 町					18	3	4	5	2		4		3	39
	御 坊 市	3	1	1	14	227	120	36	23	0	0	34	20	98	577
	御 坊 市	2	1		7	95	57	15	7			18	11	46	259
	美 浜 町			1	1	19	15	3	4			3	1	12	59
田辺	目 高 町					24	13	4	5			2	1	7	56
	由 良 町	1			1	24	7	3	2			3	5	11	57
	川 辺 町					18	10	2	1			3		6	40
	中 津 村				1	13	2	3	2				2	4	27
	美 山 村				1	11	5	1	1					4	23
	印 南 町				3	23	11	5	1			5		8	56
新宮(古座)	田 辺 市	12	7	30	16	393	126	72	56	9	0	171	66	176	1,134
	田 辺 市	5	2	20	5	217	63	31	34	3		88	35	91	594
	龍 神 村			1		14	1	5	2	1		7	4	3	38
	み な べ 町		1		4	30	19	8	2			13	3	15	95
	白 浜 町	3	4	3	4	45	17	9	8	1		25	8	23	150
	中 辺 路 町					13	4	3	1	2		8	2	7	40
	大 塔 村			1		10	1					2	2	5	21
	上 富 田 町	3		3	1	31	14	9	3			21	11	16	112
	日 置 川 村			2		11	3	5	3	1		3		10	38
新宮	す さ み 町	1			2	22	4	2	3	1		4	1	6	46
	新 宮 市	2	0	0	6	72	15	12	8	3	0	13	5	66	202
	串 本 町	2			2	43	8	10	6	2		10	3	46	132
	古 座 町				3	20	5	2	2			3	2	7	44
新宮	古 座 川 町				1	9	2			1				13	26
	新 宮 市	0	1	6	7	144	54	40	24	4	2	33	10	144	469
	新 宮 市		1	3	3	75	25	21	13	3	2	13	7	77	243
	那 智 勝 浦 町			1	3	44	19	13	7			15		39	141
	太 地 町			1		5		2	1	1		1		10	21
	熊 野 川 町				1	6	3	1				2	2	11	26
合計	本 宮 町			1		9	6	3	3			2		5	29
	北 山 村					5	1						1	2	9
合 計		39	20	74	151	2,434	1,053	447	545	86	7	1,140	154	1,053	7,203

精神障害者保健福祉手帳所持者数(平成17年3月31日)

		計	1級	2級	3級			計	1級	2級	3級	
和歌山市	計	813	276	433	104		日高町	26	4	16	6	
海南	計	338	136	154	48		由良町	19	4	15		
	海南市	230	97	97	36		川辺町	15	6	9		
	下津町	57	24	28	5		中津村	8	3	3	2	
	野上町	28	7	17	4		美山村	11		10	1	
	美里町	23	8	12	3		印南町	17	5	7	5	
岩出	計	207	79	108	20	田辺	計	387	71	251	65	
	打田町	34	13	17	4		田辺市	199	39	120	40	
	粉河町	20	7	13			龍神村	8	1	6	1	
	那賀町	16	6	9	1		みなべ町	35	7	21	7	
	桃山町	19	9	8	2		白浜町	46	7	36	3	
	貴志川町	48	17	29	2		中辺路町	19	4	13	2	
	岩出町	70	27	32	11		大塔村	7	2	4	1	
高野口	計	196	47	127	22	新宮 (古座)	計	155	34	102	19	
	橋本市	101	29	61	11		串本町	105	19	75	11	
	かつらぎ町	40	11	27	2		古座町	21	4	13	4	
	高野口町	40	3	29	8		古座川町	29	11	14	4	
	九度山町	7		6	1		新宮	計	280	91	156	33
	高野町	6	3	3				新宮市	143	50	73	20
	花園村	2	1	1				那智勝浦町	82	22	55	5
湯浅	計	194	63	101	30	太地町		14	4	9	1	
	有田市	71	26	31	14	熊野川町		23	5	13	5	
	湯浅町	48	19	23	6	本宮町	11	6	4	1		
	広川町	20	4	13	3	北山村	7	4	2	1		
	吉備町	25	6	14	5	御坊	計	221	44	147	30	
金屋町	19	3	15	1	御坊市		104	20	69	15		
清水町	11	5	5	1	美浜町		21	2	18	1		
						県計	2,791	841	1,579	371		

精神障害者福祉手帳疾病別交付状況

疾病名	前年度末	本年度中交付件数			本年度中減件数					本年度末
		更新	新規	計	治癒軽快	死亡	転出等	未更新	計	
症状性又は器質性精神障害	25	25	3	28				1	1	27
脳血管障害及びその後遺症	9	10	3	13				2	2	11
老年期痴呆	34	36	5	41			1	7	8	33
中毒性精神障害	23	22	7	29				4	4	25
統合失調症圏	860	891	208	1,099		12	1	42	55	1,044
そううつ病圏	163	166	63	229		2		7	9	220
その他の精神病	124	125	35	160		2		7	9	151
神経症	46	49	19	68					0	68
精神病質	21	21	9	30		1		1	2	28
児童・思春期精神障害	1	1	1	2				1	1	1
てんかん	106	114	33	147		2	1	15	18	129
知的障害	13	14	4	18				1	1	17
その他	1,035	994	96	1,090		8	3	42	53	1,037
合計	2,460	2,468	486	2,954	0	27	6	130	163	2,791

Ⅲ 資 料

- 1 精神保健福祉に関する社会資源所在地一覧
- 2 精神障害者に対する保健福祉施策等一覧
- 3 精神保健福祉センター所蔵図書（平成15・16年度購入）
- 4 精神保健福祉センター所蔵ビデオ一覧（平成17年3月31日現在）

精神保健福祉に関する社会資源所在地一覧

県立保健所

名称	郵便番号	所在地	電話番号
海草振興局健康福祉部（海南保健所）	642-0022	海南市大野中939	073-482-0600
那賀振興局健康福祉部（岩出保健所）	649-6223	那賀郡岩出町高塚209	0736-63-0100
伊都振興局健康福祉部（高野口保健所）	649-7203	伊都郡高野口町名古屋927	0736-42-3210
有田振興局健康福祉部（湯浅保健所）	643-0004	有田郡湯浅町湯浅2355-1	0737-63-4111
日高振興局健康福祉部（御坊保健所）	644-0011	御坊市湯川町財部859-2	0738-22-3481
西牟婁振興局健康福祉部（田辺保健所）	646-8580	田辺市朝日ヶ丘23-1	0739-22-1200
東牟婁振興局健康福祉部（新宮保健所）	647-8551	新宮市緑ヶ丘2-4-8	0735-22-8551
東牟婁健康福祉部串本支所 （新宮保健所 串本支所）	649-4122	東牟婁郡串本町西向193	0735-72-0136

※ 県立保健所は、各振興局健康福祉部内にあります。

精神保健福祉センター

施設名	郵便番号	所在地	電話番号
和歌山県 精神保健福祉センター	640-8319	和歌山市手平2丁目1番2号 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階	073-435-5194

市保健所

保健所名	郵便番号	所在地	電話番号
和歌山市保健所	640-8137	和歌山市吹上5-2-15	073-433-2261

市福祉事務所

施設名	郵便番号	所在地	電話番号
和歌山市福祉事務所	640-8511	和歌山市七番丁23 和歌山市役所内	073-432-0001
海南市福祉事務所	642-8501	海南市日方1525-6 海南市役所内	073-483-8430(直)
橋本市福祉事務所	648-8585	橋本市東家1-1-1 橋本市役所内	0736-33-1111
有田市福祉事務所	649-0392	有田市箕島50 有田市役所内	0737-83-1111
御坊市福祉事務所	644-8686	御坊市蘭350 御坊市役所内	0738-23-5508(直)
田辺市福祉事務所	646-0031	田辺市湊1619-8 田辺市民総合センター内	0739-26-4900
新宮市福祉事務所	647-8555	新宮市春日1-1 新宮市役所内	0735-23-3333

精神科を標ぼうする病院及び診療所

精神病院

医療機関名	郵便番号	所在地	電話番号
紀の郷病院	648-0101	伊都郡九度山町九度山113-6	0736-54-2288
医療法人宮本会紀の川病院	649-6246	那賀郡岩出町吉田47-1	0736-62-4325
医療法人田村病院	649-6261	和歌山市小倉645	073-477-1268
医療法人宮本病院	641-0054	和歌山市塩屋3-6-1	073-444-0576
医療法人旭会和歌浦病院	641-0021	和歌山市和歌浦東3-2-38	073-444-0861
医療法人浜之宮病院	641-0013	和歌山市内原948	073-448-2331
県立こころの医療センター	643-0111	有田郡吉備町庄31	0737-52-3221
紀南こころの医療センター	646-0015	田辺市たきない町25-1	0739-22-2080
医療法人芳純会潮岬病院	649-3502	東牟婁郡串本町潮岬417	0735-62-0888
医療法人両茂会岩崎病院	647-0061	新宮市三輪崎1384	0735-31-7153

総合病院精神科

医療機関名	郵便番号	所在地	電話番号
橋本市民病院	648-0005	橋本市小峰台2-8-1	0736-37-1200
和歌山県立医科大学附属病院	641-0012	和歌山市紀三井寺811-1	073-447-2300
日本赤十字社和歌山医療センター	640-8269	和歌山市小松原通4-20	073-422-4171
国保野上厚生総合病院	640-1141	海草郡野上町小畑198	073-489-2178
国保日高総合病院	644-0002	御坊市藺116-2	0738-22-1111
社会保険紀南病院	646-0011	田辺市新庄町46-70	0739-22-5000

精神科クリニック

医療機関名	郵便番号	所在地	電話番号
なかいクリニック	648-0086	橋本市神野々382	0736-33-1638
北脇医院	648-0018	橋本市隅田町垂井7	0736-32-0709
上田神経科クリニック	649-7161	伊都郡かつらぎ町笠田東171	0736-22-1000
生馬クリニック	640-8341	和歌山黒田84-11クリニックビル上林2F	073-475-1380
岩井医院	640-8390	和歌山市有本609	073-423-4620
久村医院	640-8115	和歌山市東紺屋町88	073-436-0091
古谷医院	641-0044	和歌山市今福2-3-46	073-422-1883
医療法人松本診療所	640-8329	和歌山市田中町5-1-15	073-425-6570
ももたにクリニック	640-8331	和歌山市美園町5-6-7	073-433-7115
医療法人生生会山本医院	649-6338	和歌山市府中1124	073-461-4887
メンタルクリニック岩井	640-8203	和歌山市東蔵前丁477-ストビル3F	073-427-2331
吉田メンタルクリニック	641-0013	和歌山市内原915カリーナル北野	073-448-2300
医療法人整友会中井クリニック	640-8344	和歌山市秋月570	073-471-0204
魚谷メンタルクリニック	642-0032	海南市名高531-1 タムビル4F	073-484-2260
白浜メンタルクリニック	649-2211	西牟婁郡白浜町1081-6-101	0739-42-5585
医療法人杉医院	649-3503	東牟婁郡串本町串本1929	0735-62-0153
医療法人芳純会みさきメンタルクリニック	649-3503	東牟婁郡串本町串本2113-2	0735-69-2888
いわさきメンタルヘルスクリニック	649-0081	新宮市新宮7684-27	0735-22-3340

精神障害者社会復帰施設等

精神障害者生活訓練施設

施設名	定員	郵便番号	所在地	電話番号	運営者
麦の芽ホーム	20人	640-8301	和歌山市岩橋643	073-474-2466	(福) 一麦会
ゆうあいホーム	20人	646-0015	田辺市たきない町22-15	0739-24-2013	(福) やおき福祉会

精神障害者通所授産施設

施設名	定員	郵便番号	所在地	電話番号	運営者
むぎ共同作業所	20人	640-8301	和歌山市岩橋643	073-474-2466	(福) 一麦会
やおき工房	20人	646-0015	田辺市たきない町22-15	0739-24-2013	(福) やおき福祉会
めばえ	27人	641-0054	和歌山市塩屋3丁目6-2	073-444-2020	(医) 宮本病院
あるべじお	20人	648-0074	橋本市野5-1	0736-32-8246	(福) 筍憩会
古道ヶ丘	20人	646-1421	田辺市中辺路町栗栖川814	0739-64-1590	(福) やおき福祉会

精神障害者小規模通所授産施設

施設名	定員	郵便番号	所在地	電話番号	運営者
いこいの家共同作業所	12人	640-8471	和歌山市善明寺13	073-480-4951	(福) いこい
ひまわり作業所	15人	641-0012	和歌山市紀三井寺681	073-444-3805	(N) ひまわり
すまいる	19人	645-0002	日高郡みなべ町芝265-1	0739-72-5643	(福) やおき福祉会
ハモニティー	15人	646-0023	田辺市文里2-30-12	0739-26-9454	(福) やおき福祉会
ワークステーション ひだか	15人	644-0014	御坊市湯川町富安1905-2	0738-24-0451	(福) 太陽福祉会
いなづみ作業所	19人	649-2621	西牟婁郡すさみ町周参見858	0739-55-2842	すさみ町
ふきのとう	20人	640-0416	那賀郡貴志川町長山1649	0736-64-8255	(N) ふきのとう

精神障害者福祉工場

施設名	定員	郵便番号	所在地	電話番号	運営者
ソーシャルファーム・ピネル	30人	640-8301	和歌山市岩橋643	073-474-4636	(福) 一麦会

精神障害者地域生活支援センター

施設名	郵便番号	所在地	電話番号	運営者
和歌山生活支援センター	640-8123	和歌山市三沢町3-40	073-427-8149	(福) 一麦会
岩出生活支援センター	649-6224	那賀郡岩出町山崎254	0736-61-0615	(福) 一麦会
紀南障害者地域生活支援センター	646-0025	田辺市神子浜2-23-12	0739-23-3667	(福) やおき福祉会
地域生活支援センター櫻	641-0054	和歌山市塩屋3丁目6-2	073-444-2468	(医) 宮本病院

精神障害者地域生活援助事業（精神障害者グループホーム）

施設名	郵便番号	所在地	電話番号	運営者
麦の郷社員寮	640-8482	和歌山市六十谷319	073-474-2466	(福) 一麦会
麦の郷第二社員寮	640-8482	和歌山市六十谷319/321-3	073-474-2466	(福) 一麦会
麦の郷第三社員寮	640-8482	和歌山市六十谷319/321-3	073-474-2466	(福) 一麦会
ホームあすなろA	641-0054	和歌山市塩屋3-6-1	073-444-1859	(医) 宮本病院
ホームあすなろB	641-0054	和歌山市塩屋3-6-1	073-444-1859	(医) 宮本病院
ホームあゆみ	649-6246	那賀郡岩出町吉田47-1	0736-62-4325	(医) 紀の川病院
グリーンスペース	643-0101	有田郡吉備町徳田95-3	0737-52-8039	家族会水曜会
クローバーホーム	646-0025	田辺市神子浜1-22-15	0739-26-2469	(福) やおき福祉会
ほわいとホーム	649-2200	西牟婁郡白浜町東谷83-49	0739-43-2381	(福) やおき福祉会
第二ほわいとホーム	649-2200	西牟婁郡白浜町東谷83-49	0739-43-2381	(福) やおき福祉会
ミサキハイツ	649-3502	東牟婁郡串本町潮岬430-1	0735-62-0888	(医) 芳純会
サンフラワー	646-0025	田辺市神子浜2丁目23-12	0739-25-3902	(福) やおき福祉会
あっとホームはらだ	648-0063	橋本市原田258	0736-32-8246	(福) 簡憩会
ふれあいホーム	649-1342	御坊市藤田町吉田218-8	0738-24-1222	(福) 太陽福祉会

ショートステイ施設

施設名	郵便番号	所在地	電話番号	運営者
「麦の芽ホーム」附設	640-8301	和歌山市岩橋643	073-474-2466	(福) 一麦会
「ゆうあいホーム」附設	646-0015	田辺市たきない町22-15	0739-24-2013	(福) やおき福祉会
「杉の郷えぼし寮」附設	647-1101	新宮市高田1642-1	0735-29-0240	(福) 美熊野福祉会
「古座あさかぜ園」附設	649-4111	東牟婁郡串本町上田原1237	0735-74-0211	(福) 和歌山県福祉事業団
「由良みのり園」附設	649-1121	日高郡由良町吹井949	0738-65-2660	(福) 和歌山県福祉事業団
「由良あかつき園」附設	649-1121	日高郡由良町吹井130	0738-65-1230	(福) 和歌山県福祉事業団
「南紀福祉センター」附設	649-1101	新宮市高田1642-1	0735-29-0240	(福) 三熊野福祉会

精神障害者小規模作業所

施設名	郵便番号	所在地	電話番号	運営者
アキバ共同作業所	641-0054	和歌山市塩屋3-6-2	073-448-0576	同運営委員会
つむぎ共同作業所	641-0021	和歌山市和歌浦東3-6-13	073-444-8903	同運営委員会
共同作業所えがお	641-0007	和歌山市小雑賀783-413	073-425-2399	同運営委員会
共同作業所エル シテイオ	640-8319	和歌山市手平6丁目112-1	073-425-2399	同運営委員会
岩出サンワーク	649-6213	那賀郡岩出町西国分605	0736-62-7201	同運営委員会
粉河町若葉作業所	649-6531	那賀郡粉河町粉河1862	0736-73-3744	同運営委員会
ピア下津作業所	649-0011	海南市下津町方300	073-492-1311	同運営委員会
海南ワーク	642-0022	海南市大野中484	073-483-8290	同運営委員会
ふれあい作業所	643-0004	有田郡湯浅町湯浅1508-1	0737-64-1338	だるまの会
第二ハモニテイ	646-0025	田辺市文里2丁目30の12	0739-26-9454	(福) やおき福祉会
ハートツリーハウス	646-0038	田辺市末広町8-23	0739-25-8308	同運営委員会
つばさ共同作業所	649-3503	東牟婁郡串本町串本1787	0735-62-6796	同運営委員会
若あゆ作業所	649-4226	東牟婁郡古座川町明神202	0735-78-0301	若あゆ会
南紀ひまわり作業所	649-5312	東牟婁郡那智勝浦町宇久井214-1	0735-54-1465	同運営委員会
どんぐりの家	647-0024	新宮市熊野地1-8-1	0735-22-6654	同運営委員会

障害者職業センター

施設名	郵便番号	所在地	電話番号
和歌山障害者職業センター	640-8323	和歌山市太田130-3	073-472-3233

障害者就業生活支援センター

施設名	郵便番号	所在地	電話番号
紀南障害者就業・生活支援センター	646-0061	田辺市上の山2-23-52	0739-26-8830
障害者就業・生活支援センター「つれもて」	640-8123	和歌山市三沢町3-40	073-427-8149

精神障害者当事者会

名称	郵便番号	所在地	電話番号
和歌山県精神障害者団体連合会 (紀の国会)	640-8123	和歌山市三沢町3-40 和歌山生活支援センター内	073-402-3681
サークルつくんこ	640-8123	和歌山市三沢町3-40 和歌山生活支援センター内	073-427-8149
ピネルの会	640-8301	和歌山市岩橋643 社会福祉法人一麦会内	073-474-2466
たけのこ会	648-0063	橋本市原田258 橋本憩いの家共同作業所内	0736-32-8246
ドレミファ会	649-7203	伊都郡高野口町名古屋927 高野口保健所気付	0736-42-3210
すみれ会	643-0004	有田郡湯浅町湯浅2355-1 湯浅保健所気付	0737-64-1338
いっぽ会	644-0044	御坊市富安1905-2ワークステーションひだか	0738-24-0451
YZネットワーク	646-0023	田辺市文里2-30-12 ハモニティ	0739-26-9454

*NPO法人は(N)と標記

精神障害者家族会

名称	郵便番号	所在地	電話番号
(N)和歌山県精神障害者家族会連合会	640-8301	和歌山市岩橋643麦の郷内	073-474-2466

断酒会

名称	郵便番号	所在地	電話番号
(N)和歌山県断酒連合会	640-8303	那賀郡貴志川町長原527-7 (堀越克利方)	0736-64-5453

摂食障害自助グループ

名称	郵便番号	所在地	電話番号
和歌山バナナ	640-8319	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛「りいぶる」内	073-435-5245

痴呆老人の家族会

名称	郵便番号	所在地	電話番号
呆け老人をかかえる家族の会	641-0044	和歌山市今福2-1-16 オレンジコープ今福診療所内	073-425-2775

精神障害者に対する保健福祉等施策一覧

平成17年5月1日現在

団体名	①入院医療費の助成	②通院医療費の助成	③作業所等への通所旅費の助成	④障害者福祉年金・福祉手当の支給	⑤夏季・年末見舞金等一時金の支給	⑥公営住宅入居の優先措置又は家賃の減免措置	⑦公営駐車場又は駐輪場等使用料金の減免	⑧バス、タクシー運賃等の助成(③以外)	⑨公営体育施設・文化施設等使用料金の減免	⑩その他
湯浅保健所										
有田市										有田地区家族会「だるま会」に助成
湯浅町										高齢者のデイサービス【手帳所持者】・有田地区家族会「だるま会」に助成・作業所へ施設無料貸与
広川町										有田地区家族会「だるま会」に助成
吉備町										有田地区家族会「だるま会」に助成
金屋町								タクシーの基本料金の助成年間24回【手帳1級】	明恵狭温泉利用料一部免除(大人350円・小人200円)	有田地区家族会「だるま会」に助成
清水町				《精神障害者福祉手当》 月額1,700円 【障害年金1級】					二川温泉・清水温泉利用料1/2免除【手帳所持者】	有田地区家族会「だるま会」に助成
御坊保健所										
御坊市		通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	通所にかかる額を12,000を限度として助成【授産施設等の通所者】					タクシーの基本料金の助成年間24回【手帳所持者】		商店街「ふれあいカード」加盟店の各種割引、サービス 映画館割引【手帳所持者】・はなまる御坊派遣事業月2回1/2社協で補助
美浜町		通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	通所に係る費用の1/2を1万円を限度に助成(2kmを超える場合)【授産施設等の通所者】	扶養手当月5,000円(在宅)・4,000円(施設)【20歳未満の手帳所持者】・障害者福祉手当月2,000円(在宅)【20歳以上の手帳所持者】				タクシーの基本料金の助成年間24回【手帳所持者】	B&G海洋センター使用料1/2免除【手帳所持者】	
日高町		通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	通所に係る費用の1/2を助成(2kmを超える場合)【在宅重度心身障害児者に準じるもの】	《心身障害児者福祉手当》 月額3,000円(者)【手帳1.2級】 (児)【手帳所持者】				タクシー基本料金の助成年間36回【手帳1.2級】	温泉館みちしおの湯減免(430円)	
由良町		通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	通所に係る費用の1/2を1万円を限度に助成(2kmを超える場合)【授産施設等通所者】							
日高川町		通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	通所に係る費用の1/2を1万円を限度に助成【授産施設等通所者】							
印南町		通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	月5,000円助成【授産施設等通所者】							
田辺保健所										
田辺市		通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	路線バス又は鉄道 上限25,000円 施設のバス利用 月3,000円～6,000円 二輪等 月1,000円～4,000円 自動車 月2,000円～9,000円 【授産施設等通所者】	年額28,500円【手帳1級】		入居所得基準を優遇措置(所得268,000円以下)【手帳所持者】		タクシー基本料金助成(年間20回)【手帳1級】	田辺市立美術館、紀州備長炭発見館1/2助成、市立体育施設減免【手帳所持者】	
みなべ町	入院医療費自己負担分を助成【手帳所持者・障害年金1.2級・町が同程度の精神障害があると認められた者】	通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	作業所への通所のみ助成【手帳所持者・障害年金受給者・患者票所持者】	月額5,000円(年間収入額が国民年金障害基礎年金2級の額からこの手当額年額を引いた額以下が対象)【手帳所持者】					南部町老人憩いの家二子の里・鶴の湯温泉入浴料無料 南部梅林入場料無料【手帳所持者】	週2回の昼食配食【手帳所持者で主に一人暮らしで炊事が困難な者】
白浜町		通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	交通機関:実費(上限月20,000円) 自動車等(町外):月10,000円 ただし、二輪は月5,000円 自動車等(町内):月2,000円 【授産施設等利用者】						公衆浴場4ヶ所、町民プール、民俗温泉資料館の利用料を減免【手帳所持者、介護人】	
上富田町		通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	施設の送迎車利用 月2,000円(町内)月5,000円(町外) 交通機関利用 定期実費を2万円を限度に助成【授産施設等通所者】					くちくまのコミュニティバス利用割引半額補助【手帳・患者票所持者】		

精神障害者に対する保健福祉等施策一覧

平成17年5月1日現在

団体名	①入院医療費の助成	②通院医療費の助成	③作業所等への通所旅費の助成	④障害者福祉年金・福祉手当の支給	⑤夏季・年末見舞金等一時金の支給	⑥公営住宅入居の優先措置又は家賃の減免措置	⑦公営駐車場又は駐輪場等使用料金の減免	⑧バス、タクシー運賃等の助成(③以外)	⑨公営体育施設・文化施設等使用料金の減免	⑩その他
日置川町			公共交通機関 月25,000円(町内通所10,000円)・自家用車 月10,000円(町内通所5,000円)送迎用車両 月5000円(町内通所5,000円)を上限に全額補助【授産施設等通所者】							
すさみ町			通所者の実費助成 鉄道等 上限月25,000円 施設車輛 上限月5,000円 自家用車 上限月5,000円 【授産施設等通所者】							
新宮保健所串本支所										
串本町	入院医療費自己負担分を助成【手帳1.2級】	通院医療費自己負担分を助成【手帳1.2級】	交通機関の実費を上限1万円に助成(距離により制限有り)【授産施設等通所者】	年額30,000円【手帳1級】所得制限有り				《福祉タクシー》基本料金を助成(年12回)【手帳1級で在宅者】	サンゴの湯入浴料無料【手帳所持者】	
古座川町	入院医療費自己負担分を助成【手帳1.2級】	通院医療費自己負担分を助成【手帳1.2級】	通所にかかる費用を月に 上限3,000円で助成、10日未満の通所の場合は、1/2助成(2kmを超える)【作業所等通所者】			家賃の減免措置【手帳1.2級】		ふるさとバス300円無料【手帳所持者】		配食サービス【手帳所持者で独居等で炊事が困難な者】
新宮保健所										
新宮市			月実費の1/2(上限5,000円)を助成【授産施設等通所者】			入居所得基準を優遇措置収入月額200,000円以下のところを268,000円以下)【手帳1.2級】		タクシー基本料金を助成(年26回)【手帳1級】		
那智勝浦町			通所にかかる費用を月10,000円を限度に助成(片道2kmを超える者)【作業所等通所者】			入居所得基準を優遇措置収入月額200,000円以下のところを268,000円以下)【手帳1.2級】				
太地町			鉄道等 上限月10,000円 施設車輛 上限月5,000円 自家用車 上限月4,000円(片道2kmを超えるもの)【授産施設等通所者】	手帳1.2級 月額6,000円 手帳3級 月額3,000円 【年金受給のない手帳所持者】	年末のみ5,000円支給【長期入院者】	入居所得基準を優遇措置収入月額200,000円以下のところを268,000円以下)【手帳1.2級】		町営巡回バス料金の1/2を減免【手帳所持者】	町営博物館入館料の1/2を減免【手帳所持者、障害年金受給者、患者票所持者】	配食サービス自己負担300円
熊野川町		通院医療費自己負担分を助成【患者票所持者】	鉄道等 実費上限12,000円 単車 月1,000円又は2,000円 自家用車 月2,000円又は4,000円(月10日未満の通所は1/2の助成)【授産施設等通所者】			入居所得基準を優遇措置収入月額200,000円以下のところを268,000円以下)【手帳1.2級】		福祉タクシー利用券24枚、富士タクシーと熊野タクシー町内利用の1/2【手帳1.2級】		配食サービス2回/月自己負担400円(社協実施に助成)【手帳1.2級】
北山村								村営バス半額補助【手帳所持者】		

精神障害者に対する保健福祉等施策一覧

(ただし④⑤⑥については実施中の市町村には○、要綱を整備したが未実施の市町村には△をしている)

団体名	①こころの相談事業	②デイケア事業	③その他	④ホームヘルプサービス	⑤グループホーム	⑥ショートステイ
和歌山県	各保健所単位・精神保健福祉センターで実施	各保健所単位で実施(海南保健所除く)				
和歌山市	第1.3木曜・第2金曜実施	第1.3木曜9-12時実施	ドロップインコーナー常設・和歌山市精神障害者スポーツ大会・家族会支援・家族相談員養成及び紹介事業・家族教室・嗜癮問題を抱える家族の集い・精神保健福祉業務担当者連絡会議	○	○	○
海南市				○	○	△
野上町				○	△	△
美里町				○	△	△
打田町			家族会支援	○	△	○
粉河町			家族会支援	○	○	△
那賀町			家族会支援	○		
桃山町			精神保健福祉連絡会(月1回) 家族会支援	○	△	△
貴志川町			家族会支援	○		
岩出町			家族会支援	○	○	○
橋本市		月2回(健康課)	精神障害者家族相談員派遣事業	○	○	○
かつらぎ町				○		△
高野口町				○	○	○
九度山町				○	△	△
高野町				○		
花園村	年6回			生活支援事業として実施(村長が特に認めたもの)		
有田市			こころの健康講座年1回実施	○		
湯浅町		月2回保健所・広川町合同		○	△	△
広川町		月2回保健所・広川町合同		○		
吉備町		月2回実施(金屋町と合同、保健師・栄養士)		△	○	△
金屋町		月2回実施(吉備町と合同、保健師・栄養士)		○		○
清水町	月1回医師・保健師	週1回	家族のつどい月1回	○		
御坊市				○市長が特に認めたもの(市単)	○	△
美浜町				○		
日高町	年4回医師・保健師			○		△
由良町		月1回(保健師・看護師)		○	○	
日高川町		月1回(保健師)		○		○
印南町		月1回(保健師)		○		
田辺市		龍神行政局年6回(保健師)		○	○	○
みなべ町				○	○	○
白浜町		月1回実施(保健師2名)		○	○	○
上富田町				○	△	○
日置川町		月1回すさみ町と合同(保健師・作業所職員)		△	△	△
すさみ町		月1回日置川町と合同(保健師・作業所職員)		○	○	○
串本町			家族会(古座町と合同)支援	○	○	○
古座川町			家族会支援	○	○	△
新宮市			グランドゴルフ大会・障害者ふれあいピクニック(3障害合同)家族会支援	○	○	○
那智勝浦町	認知症高齢者相談年6回		家族会(那智勝浦町周辺地域)支援	○	○	○
太地町		年4回(保健師)		○	△	○
熊野川町				○	△	○
北山村						

精神保健福祉センター書籍一覧(平成15, 16年度購入)

書籍や精神保健関連の雑誌、各種調査結果などの資料を所蔵し、貸し出しを行っている。

ここでは、平成15, 16年度に購入した書籍を掲載する。

1	精神保健福祉実践ハンドブック		日総研
2	はじめて学ぶ人の臨床心理学	監 杉原一昭・編渡邊映子・勝倉孝治	中央法規
3	生活にいかすカウンセリング心理学	国分康孝	中央法規
4	依存性薬物と乱用・依存・中毒	和田清	星和書店
5	全国ひきこもり・不登校援助団体レポート		ポット出版
6	研修医のための精神医学入門	石井毅	星和書店
7	高機能自閉症・アスペルガー症候群「その子らしさ」を生かす子育て	吉田友子	中央法規
8	精神障害者の事件と犯罪	滝沢武久	中央法規
9	自殺予防マニュアル	編 日本医師会	明石書店
10	面接プログラム学習	D. エバンス他／訳 杉本照子	相川書房
11	精神障害リハビリテーション	野中猛	中央法規
12	発達障害の子どもたち	編 細川徹	中央法規
13	LD相談室	編 山口薫	中央法規
14	利用者主導を貫く精神障害者ケアマネジメントの実践技術	三品桂子	へるす出版
15	精神障害者のケアマネジメント	監 日本精神保健福祉士協会	へるす出版
16	広辞苑		岩波書店
17	精神保健福祉用語辞典	日本精神保健福祉士協会	
18	心の病気の見つけ方	福西勇夫	中央法規
19	六法全書		有斐閣書店
20	殺さないで	毎日新聞児童虐待取材班	中央法規
21	セックス依存症	バトリック・カーンズ	中央法規
22	大逆転の痴呆ケア	和田行男	中央法規
23	思春期・青年期と向き合う人のための心理学	監 菊池武剋	中央法規
24	「気になる子ども」の配慮と支援	監 村松多美恵	中央法規
25	障害のある人の雇用・就労支援Q&A	大阪障害者雇用ネットワーク	中央法規
26	精神障害者ケアマネジメントマニュアル	寺田一郎	中央法規
27	子どもの心身症ガイドブック	小林陽之助	中央法規
28	ほくを助けて	才村純	中央法規
29	知的障害者ホームヘルプサービスの実践	知的障害者ホームヘルプサービス研究会	中央法規
30	精神障害者社会復帰施設運営ハンドブック	寺田一郎	中央法規
31	小規模社会福祉法人通所授産施設開設のための総合ガイド	きょうされん	中央法規
32	市町村の時代の精神保健福祉業務必携	全国精神保健相談員会	中央法規
33	精神科リハビリテーションワークブック	水野雅文	中央法規
34	小規模授産施設開設と社会福祉法人設立マニュアル	全国精神障害者家族会連合会	中央法規
35	精神障害の臨床	上島国利	協和企画
36	特別支援教育を支える行動コンサルテーション	加藤哲文	学苑社
37	ACT入門	佐藤光源	金剛出版
38	春一番が吹いたよ	山崎蓉子	東銀座出版
39	DV加害男性への心理臨床の試み	草柳和之	新水社
40	ひきこもりへの対応ガイドライン	伊藤順一郎	(株)じほう
41	摂食障害治療ハンドブック	小牧元訳	金剛出版
42	拒食過食のながいトンネルをぬけて	鈴木裕也	女子栄養大学出版部
43	不安、ときどき認知療法、のち心は晴れ	勝田吉彰訳	星和出版
44	全国社会資源名簿	全国精神障害者家族会連合会	全家連
45	セラピーをスリムにする	吉川悟	金剛出版
46	カウンセリング大辞典	小林司編	新曜社
47	意識の闇、無意識の光	亀節子	創元社
48	話を聞いて下さい	少年犯罪被害者当事者の会	サンマーク出版

精神保健福祉センタービデオ一覧(平成17年4月1日現在)

	ビデオ名	発行元
1	精神保健福祉ビデオシリーズ1 精神障害をもつ人への理解	丸善
2	精神保健福祉ビデオシリーズ2 精神障害をもつ人への支援	丸善
3	精神保健福祉ビデオシリーズ3 精神障害をもつ人への援助の実際	丸善
4	精神保健福祉ビデオシリーズ4 精神障害をもつ人のケアマネジメント	丸善
5	精神保健福祉ビデオシリーズ5 ノーマライゼーション	丸善
6	ひらくかけるつなぐ～精神保健ボランティア～第1巻いっしょにいこうよ～	ジェムコ
7	ひらくかけるつなぐ～精神保健ボランティア～第2巻スタンドバイミー～	ジェムコ
8	生きる力を創る～SSTの理論と実際～第1巻SSTの理論と役割	ジェムコ
9	生きる力を創る～SSTの理論と実際～第2巻SSTの基本的技術	ジェムコ
10	生きる力を創る～SSTの理論と実際～第3巻SSTの実際	ジェムコ
11	精神障害者ケアマネジメント第1巻解説編	中央法規
12	精神障害者ケアマネジメント第2巻実際編	中央法規
13	災害と心のケア	アスク・ヒューマン・ケア
14	助けを求めない人をどう援助するか第1巻否認の心理とイネイブリング	ジェムコ
15	助けを求めない人をどう援助するか第2巻上手な介入の実際	ジェムコ
16	今ここにいきる～精神障害者とともに～	高知県立精神保健センター
17	エイズ・エイド	ジェムコ
18	子ども虐待防止対策ビデオ「MCGとは何か」東京世田谷区の取り組み	世田谷保健所
19	あなたの心元気ですか！～高校生の心の健康を考えるためのビデオ～	全家連
20	あちこたねえ 精神障害者の地域生活支援	全家連
21	ここにおいでよ～精神障害者を支える地域作業所～	全家連
22	ひとりぼっちをなくそう！ 精神障害者本人の会	全国精神障害者団体連合会
23	正しい知識は回復への道 家族のための分裂病講座	全家連
24	ゆっくり治療し、再発を防ごう 家族のための分裂病講座	全家連
25	そよ風はどこにでも 第一巻いつでもどこでもだれにでも～コミュニティワーク入門	ジェムコ
26	そよ風はどこにでも 第二巻くらすはたらくつどう～コミュニティワークの実際	ジェムコ
27	精神分裂病を生きる 第1巻妄想篇その1四六時中のぞかれていた七年間	ベテル
28	精神分裂病を生きる 第2巻妄想篇その2ヒーローたちの戦い	ベテル
29	精神分裂病を生きる 第3巻幻聴から幻聴さんへ	ベテル
30	精神分裂病を生きる 第4巻721人の幻聴さんとともに	ベテル
31	精神分裂病を生きる 第5巻成長する幻聴さん	ベテル
32	精神分裂病を生きる 第6巻幻覚とも妄想とも仲良く暮らす	ベテル
33	精神分裂病を生きる 第7巻ひきこもりのすすめ	ベテル
34	精神分裂病を生きる 第8巻言葉にできない思いの爆発	ベテル
35	精神分裂病を生きる 第9巻飲まされるクスリ飲むクスリ	ベテル
36	精神分裂病を生きる 第10巻話すことから始まる回復への道	ベテル

	ビデオ名	発行元
37	アルコールの害 第1巻酒害の予防	ジェムコ
38	アルコールの害 第2巻10代の飲酒問題	ジェムコ
39	アルコールの害 第3巻アルコール依存症者の家族	ジェムコ
40	アルコールの害 第4巻女性とストレス	ジェムコ
41	アルコールの害 第5巻胎児性アルコール依存症	ジェムコ
42	アルコール依存症 第1巻アルコール依存症とは	ジェムコ
43	アルコール依存症 第2巻アルコール依存症者の心理	ジェムコ
44	アルコール依存症 第3巻家族の心理	ジェムコ
45	アルコール依存症 第4巻アルコール依存症からの回復	ジェムコ
46	アルコール依存症 第5巻酒なし生活術	ジェムコ
47	アルコール依存症 回復と再発予防	ジェムコ
48	アダルト・チャイルド 第1巻理解のためのガイド:アダルトチャイルドとは何か	ジェムコ
49	アダルト・チャイルド 第2巻ケーススタディ:アダルトチャイルドが生き方を変えるとき	ジェムコ
50	薬物依存 孤独そして絶望からの脱出	スクエアシップ
51	アルコール依存症への道 第1巻女性のライフステージとアルコール	朝日放送設備
52	アルコール依存症への道 第2巻あなたのお酒の飲みかたは大丈夫	朝日放送設備
53	アルコール依存症への道 第3巻「共依存症」アルコール依存症とその家族	朝日放送設備
54	アルコール依存症への道 第4巻アルコール依存症、「回復への道」	朝日放送設備
55	未成年者とアルコール 保健体育・特別活動教材	毎日EVRシステム
56	サンフランシスコのハーフウェイハウス	全家連
57	自律訓練法の実践 ストレスをとり除く心身健康法	創元社
58	箱庭療法1 ぼく、しゃべったよ～場面緘黙症のケース	メンタル・ヘルス
59	箱庭療法2 不思議な国の赤頭巾～不登校のケース～	メンタル・ヘルス
60	マインド・トラベル～鯨&イルカの会話～	キープ
61	今日の精神科入院医療～心の病気を克服するために～	日本精神科病院協会
62	癒しの揺りかご～精神科医療～偏見を乗り越えて～	日本精神科病院協会
63	あせらずに・ゆとりをもって・むりしない～病気・くすり・くらし～前編(ビデオ)	全家連
64	あせらずに・ゆとりをもって・むりしない～病気・くすり・くらし～後編(ビデオ)	全家連
65	精神障害者就業支援中央セミナー	精神障害者職業自立啓発事業企画委員会
66	連携とは／実践で見えてきたもの	中島制作所
67	ひきこもり・扉のむこうからのSOS	NHK「にんげん広場」2003・2・22
68	高齢者の心のケア第1巻理論編	ジェムコ
69	高齢者の心のケア第2巻実際編	ジェムコ
70	心理教育による精神障害者の家族支援 第1巻心理教育の必要性とすすめ方	ジェムコ
71	心理教育による精神障害者の家族支援 第2巻それぞれの場、それぞれの学び	ジェムコ
72	新しい風が吹くまちで	全家連
73	ひきこもり完全脱出マニュアル(第1講)	ピーイーエデュケーション
74	ひきこもり完全脱出マニュアル(第2講)	ピーイーエデュケーション
75	さらば哀しみのドラッグ NOという勇気を持つ	厚生労働省関東信越厚生局麻薬取締部
76	職場におけるメンタルヘルス 事例集 第1部 エントを起こした新入社員	日本人事行政研究所
77	職場におけるメンタルヘルス 事例集 第2部 出向先の環境に馴染めないエンジニア	日本人事行政研究所
78	職場におけるメンタルヘルス 管理職編 第1部 ポストの重任に喘ぐマジメ課長	日本人事行政研究所
79	職場におけるメンタルヘルス 管理職編 第2部 定年を前にして不調に陥った課長	日本人事行政研究所

和歌山県精神保健福祉センター所報
— 平成16年度 —
(平成17年7月発行)

和歌山県精神保健福祉センター
〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階
TEL 073-435-5194 FAX 073-435-5193
和歌山県ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>